

第７章　学校区別の景観まちづくり

近年、「環境」や「景観」といった観点から、自らの暮らしの場等におけるまちづくりに関心を抱く市民が多くなっています。またそうした関心が具体的な行動に発展し、主体的あるいは行政との協働による景観まちづくりに積極的に参加する場面も多数見られるようになりました。

市では、こうした市民主体あるいは行政との協働による景観まちづくりが、将来の魅力的な調布を形づくっていくうえで大切な取組の一つであると捉え、今後、更なる積極的な支援と推進を図っていきます。

7－1．小学校区に着目した景観まちづくり

(1)小中学校の校歌に詠まれた景観資源

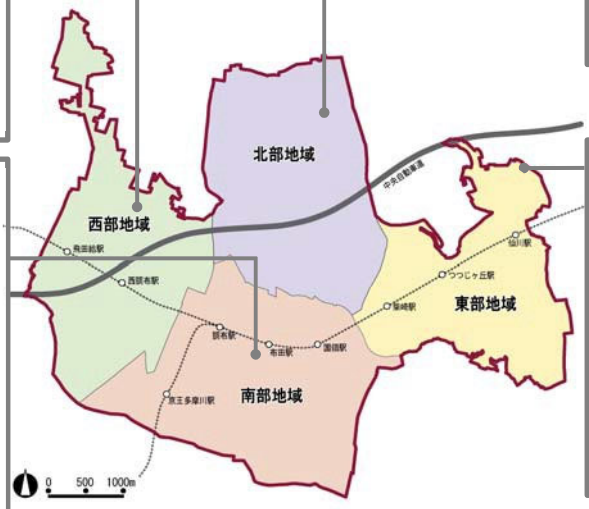
まちの景観は、時として文学や歌(俳句等を含む)に詠まれる場合があります。特に、市民に身近なものとして、小中学校の校歌があげられます。

ここでは、市立小学校20校と中学校8校の校歌に詠まれている景観資源を、市域を東西南北の4つの地域に分割したそれぞれで整理しました。

西部地域
- ゆずり葉
- なら、くぬぎ、もみじ
- 松の梢
- 若草
- 林
- 季の花咲く武蔵野
- むさし野のみどり
- 多摩川
- 風
- 調布の空
- 富士
- 富士の嶺

北部地域
- 欅
- 深大寺
- 樹木の芽立ち
- 松の木立
- 丘の上
- 森
- 山野
- 大空
- 富士の嶺

南部地域
- さくらの花
- 百日紅の花並木
- けやきの梢
- 若木
- 美しい四季
- 緑
- 野川
- 多摩川堤
- 多摩川
- 多摩の丘陵
- 多摩
- ヒバリ
- 大空
- 富士の峰



東部地域
- いちょうのこずえ
- 緑あふれる若葉のにわ
- 緑
- 太陽のかがやく丘
- 森
- 武蔵野の森
- 野川
- 多摩川の岸辺
- 多摩川
- あかるいそら
- 多摩の空

※市内の小中学校の校歌には、近景から遠景までの様々な景観資源が詠まれています。
上記の 4 地域で示した景観資源は、それぞれ近景から遠景の順(イメージ)で整理しています。

北部地域　深大寺や森、丘など北部地域の国分寺崖線の樹林地や緑地などの豊かな緑、また歴史の趣を感じる深大寺などの景観資源が表現されています。

西部地域　武蔵野の森公園や野川公園など緑豊かで、また広大な敷地から空を仰ぎ見ることができることから、武蔵野の緑や調布の空などの景観資源が表現されています。

東部地域　国分寺崖線の崖線樹林地をはじめとする緑や樹林地のすぐ近くを流れる野川などが形成する良好な環境があることから、緑あふれる若葉のにわ、武蔵野の森、野川などが景観資源として表現されています。

南部地域　府中崖線が形成する独特の地形変化や多摩川が醸し出す広大な眺めなどから、多摩の丘陵、多摩川、大空などの景観資源が表現されています。

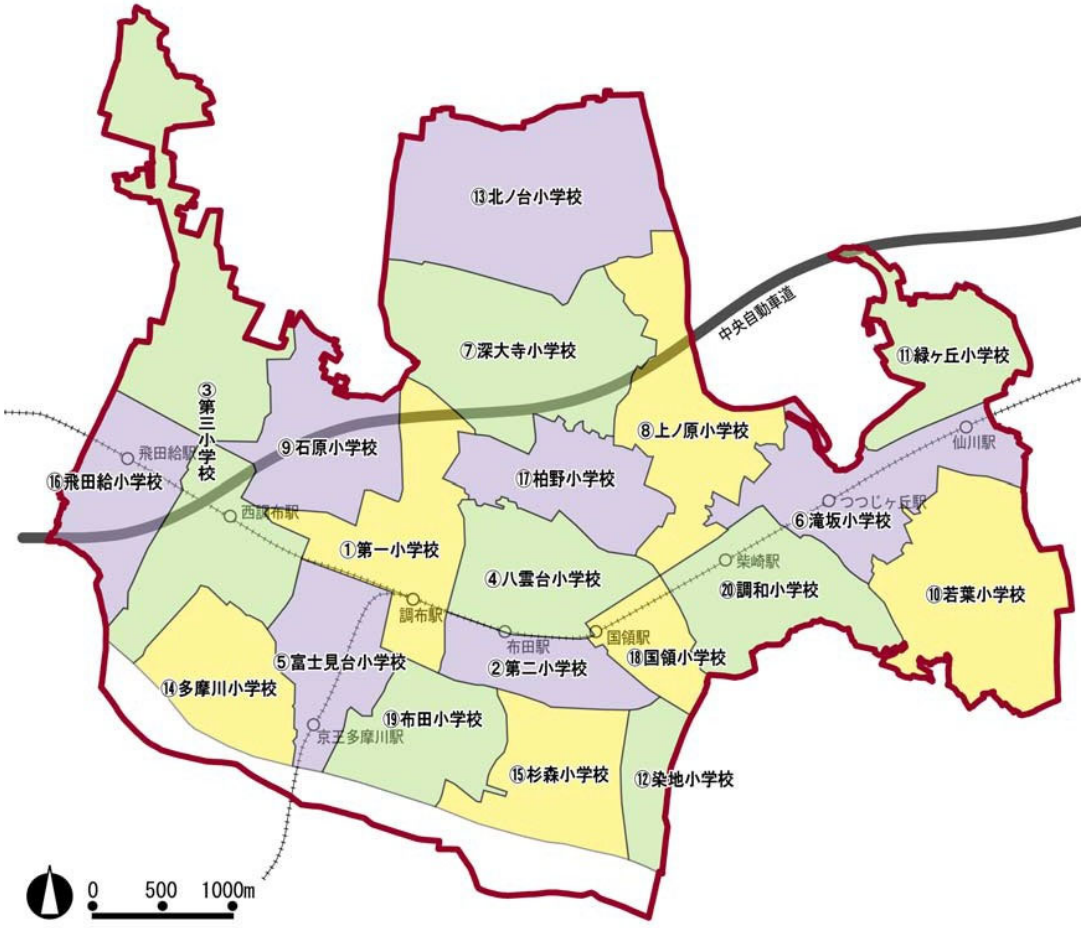
(2)小学校区別の景観まちづくり(案)

調布市景観基本計画の「景観まちづくりの基本的な考え方」に示しているように、**身近な景観に対する愛着**を高め、**地域の魅力を生かした取組**を積極的に進めていくため、市民が認識し各種活動に取り組みやすいコミュニティ単位である小学校区（身近な景観づくりに取り組むエリア）で景観計画区域を分割し、それぞれのエリアに対する景観まちづくりの方針(案)等を示します。

なお、景観資源図に示す資源は、市民が「地区を構成する資源」と思っているものを、景観まちづくり市民検討会での検討と小中学生へのアンケートをもとに掲載しています。

■身近な景観まちづくりに取り組むエリア(小学校区)

①第一小学校	P71	②第二小学校	P72	③第三小学校	P73	④八雲台小学校	P74
⑤富士見台小学校	P75	⑥滝坂小学校	P76	⑦深大寺小学校	P77	⑧上ノ原小学校	P78
⑨石原小学校	P79	⑩若葉小学校	P80	⑪緑ヶ丘小学校	P81	⑫染地小学校	P82
⑬北ノ台小学校	P83	⑭多摩川小学校	P84	⑮杉森小学校	P85	⑯飛田給小学校	P86
⑰柏野小学校	P87	⑱国領小学校	P88	⑲布田小学校	P89	⑳調和小学校	P90



身近な景観まちづくりに取り組むエリア(小学校区)

【景観資源図の凡例】

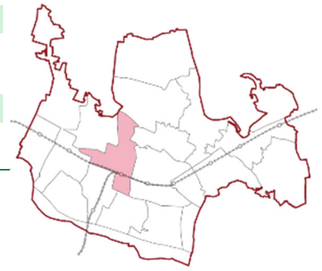
駅・拠点	駅前広場など地域の拠点となる景観	歴史・文化	社寺など歴史や文化が感じられる景観	新	改定で新たに発見・追加した景観資源
自然	公園、緑地など自然が感じられる景観	産業	企業や商業活動などに関する景観	子	小中学生アンケートで見つけた景観資源
道・通り	主要な道路、遊歩道などの景観	生活	商店街や住宅など生活に身近な景観	八景	「ちょうふ八景」に選定された景観

01 第一小学校区

〈崖線が通る小学校区（崖線の大まかな位置は、P13の図を参照）〉

位置

市のほぼ中央に位置し、調布駅を含む校区です。



景観特性

■駅を核に発展する中心市街地

駅を中心に商業・業務施設等の都市機能が集積することで、市内外の大勢の人が集まり、活気とにぎわいのある中心市街地が形成されています。

■人々のつながりと地域の活力を生み出す商店街

複数の商店街等からなる駅前の商業地は、日常の買物はもちろん、夏祭り等のイベントの開催地となるなど、地域に根ざした市民生活の場となっています。

■市街地に残された貴重な憩いの空間である野川

河川に向かって枝を張る桜並木が美しい野川は、地域住民はもちろん、地域外の人たちの目も楽しませてくれる貴重な自然資源の一つとなっています。

■地域の歴史を伝える布多天神社や旧甲州街道

歴史的な趣を感じる蔵や住宅等が残った旧甲州街道沿いの街並みや、ちょうふ八景の一つに数えられる布多天神社等は、往時の面影や歴史情緒を今に伝え残しています。

景観まちづくり方針（案）

●調布の「顔」としてふさわしい駅前景観の形成を図り、都市の風格と文化的魅力を高めます

- 駅前空間において、統一感のある建物デザインやサイン計画を誘導し、周辺の歴史資源との連続性に配慮した景観形成を進めます。
- 都市拠点としての利便性と、調布らしさを感じられる文化的魅力の両立を図り、市民及び来訪者にとって質の高い都市景観を創出します。

●商業・業務、住宅、歴史等の様々な要素が調和した、にぎわいの中にも親しみの感じられる景観を形成します

- 商店街や公共空間等の魅力向上を図るとともに、学生や子育て世代、高齢者など多様な主体が交流できる環境整備を推進します。
- 地域活動や歴史資源の活用とも連携し、にぎわいと親しみやすさが調和する、市民生活に根差したまちなみ景観の向上を目指します。

●市街地に残された貴重な水辺や緑を保全し、歩いて楽しめる魅力的な景観軸を創出します

- 野川の水辺環境や桜並木などの自然的要素の保全・活用を図り、散策路や休憩空間の整備を通じて市街地との一体的な景観形成を推進します。
- 季節の変化を感じながら歩いて楽しい市街地の環境を整え、まちなかの回遊性向上と地域の憩いの場の充実につなげます。

●布多天神社や旧甲州街道沿いの街並み等の歴史的景観を保全・活用し、「歴史の道」として連続する魅力ある景観を形成します

- 布多天神社、旧甲州街道、平和の塔などの歴史的資源を面的かつ連続的に捉え、景観形成の視点から適切な保全・活用を図ります。
- 調布駅周辺から深大寺へと続く歴史軸を明確化し、地域の文化的価値を継承しながら、観光・交流を支える魅力の向上を目指します。

※景観資源図は、景観まちづくり市民検討会での検討と小中学生へのアンケートをもとに作成しています。
※標高を示すグラデーションが急に変わっている箇所は、国分寺崖線を形成する崖地になっています。



02 第二小学校区

位置

市の中央に位置し、布田駅南を含む校区です。

景観特性

■武蔵野の面影を感じることのできる農地や屋敷林の景観

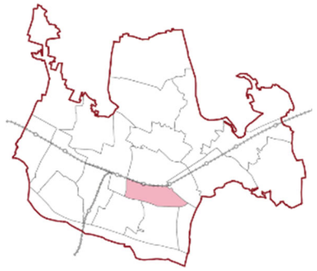
地区内には、戸建住宅やマンション等が多く立地していますが、農地も多く見られます。地域に根付いた農業等と人々の生活の場である住宅地が一体となった、落ち着きのある街並みを形成しています。

■市街地に残る生産緑地地区に代表される良好な緑地

市街地内には、生産緑地地区に代表される緑地等が残っており、貴重な自然資源となっているとともに、地域住民の潤いや安らぎを感じることのできる景観を形成しています。

■布田南通り沿道等の商業地

地区の中央を南北に縦断し、三鷹通りへとつながる布田南通り沿道には、小規模店舗が連なる商業地となっています。また、地区の外周部には、狛江通り、品川通りといった主要道路や京王線が通っています。



景観まちづくり方針(案)

●鉄道敷地を中心に、緑と人が集うにぎわい空間を創出し、新しい調布の顔となる景観を形成します

・鉄道敷地遊歩道「ちょうふぽっぽみち」が整備され、良好な歩行空間としてだけでなく、地域交流や憩いの場としての活用が期待されます。ベンチや子どもが遊べるスペース、カフェなどが連なるにぎわいを生み出し、多世代が集い触れ合える場づくりを進めます。

・四季を感じられる緑道の整備とともに、清掃活動などを通じた地域コミュニティの活性化も促します。

●農地や屋敷林など、地域に残る緑豊かな景観を守り、調布の原風景を未来へ継承します

・地区内に残る農地や屋敷林は、武蔵野の面影を伝える貴重な資源です。宅地化が進む中でもこれらの緑を守り、自然と共生する落ち着いた街並みを保ちます。

・地域の歴史と暮らしを感じられる景観を次世代に引き継ぐことを目指します。

●「古き良き調布」と「新しい調布」が響き合い、調和と交流が感じられるまちの景観を形成します

・歴史的な農の風景と都市のにぎわいが対比しながら共存する独自の魅力を守り育みます。建物は低層で空の広がりを守りつつ、多様な世代が交流できる温かみのある環境をつくります。



ちょうふぽっぽみち 新

京王線鉄道敷地に整備された遊歩道は、歩道が広くて子どもやお年寄りにも安全。新たな素敵な景観ができました

歩道と駐輪場 新

歩道から自転車置き場が見えないよう工夫され、植栽が目を楽しませてくれます。歩道が広くて歩くのも安全

かわいい薬局 新

丸い外観と屋根が愛らしい建物。おとぎ話に出てくるようなデザインが、通る人の目を楽しませてくれます

布田稲荷神社 新

住宅街の間にひっそりとたたずむ小さな神社。手入れされており、生活に身近な場所です

住宅地の中の農地

住宅地の中に残っている農地は、見る人をほっとさせてくれます。手入れされた作物が、季節の移り変わりも教えてくれます

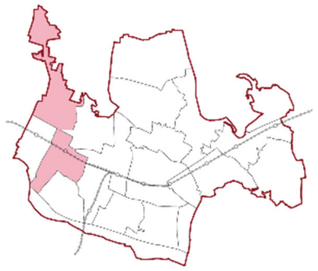
※景観資源図は、景観まちづくり市民検討会での検討と小中学生へのアンケートをもとに作成しています。

03 第三小学校区

〈崖線が通る小学校区（崖線の大まかな位置は、P13の図を参照）〉

位置

市北西部に位置する南北に長い校区です。



景観特性

■多摩川、野川や府中崖線緑地等による豊富な自然環境

南端に多摩川、北端に野川といった市内の主要河川が校区内を流れています。さらに、南部には府中崖線が位置し、はけの緑や崖線沿いには府中用水が流れており、自然豊かな環境を形成しています。

■上石原若宮八幡神社や旧街道の趣が感じられる歴史資源

市の指定文化財である上石原若宮八幡神社、近藤勇生家跡が残る人見街道や旧来の町割が残されている旧甲州街道といった、趣を感じさせる豊富な歴史資源が残っています。

■味の素スタジアム、野川公園等の豊富な憩いの場

地区内には、味の素スタジアムに代表されるスポーツ施設が集積しており、全国的に知名度のあるスポーツエリアとなっています。また、野川が流れる野川公園や、豊富な緑に覆われた武蔵野の森公園等は、地域活動も活発に行われている市民の憩いの場となっています。

■西調布駅周辺の小規模店舗が集積した商業地

西調布駅周辺には、小規模店舗が集まり商業地を形成し、地域住民の日常生活の利便性を向上させています。

景観まちづくり方針（案）

●野川や府中崖線、府中用水などの水と緑の環境を生かし、自然と調和したゆとりある住宅地景観を形成します

・野川や府中用水のせせらぎや府中崖線の緑を生かし、季節の移ろいと安らぎを感じながら暮らせる自然と共生した住宅地景観を目指し、水辺や緑地と住環境が緩やかにつながる環境を整えます。
・多摩川・野川・府中崖線等の自然環境へのアクセス性を高めるとともに、府中用水を親しみやすい散策・憩いの空間として活用し、自然資源の魅力を高めるまちづくりを進めます。

●社寺や旧街道沿いの歴史的建造物を保全･活用し、歴史の趣と地域の記憶を継承する景観を育みます

・神社や旧街道などの歴史資源を散策ルートでつなぎ、歩くことで地域の由緒や文化の魅力を実感できる景観づくりを進め、歴史的価値を体感できる環境を整えます。
・上石原若宮八幡神社や旧甲州街道、人見街道の町割などを保全・活用し、案内表示や景観誘導を工夫することで、地域の記憶を次世代へ継承する歴史的街並みを形成します。

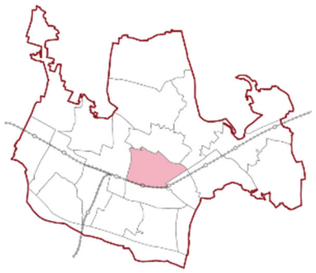
●味の素スタジアムや野川公園、西調布駅周辺などの拠点を生かし、にぎわいと交流が生まれる魅力的なまちの景観を形成します

・味の素スタジアムや野川公園、武蔵野の森公園の緑と西調布駅周辺の商業地の活気を結び、人が集い楽しむことのできる回遊性のある交流空間として調和のとれた景観を創出します。
・スタジアムのにぎわいをまちなかへ誘導するとともに、空き家・空き店舗のリノベーション活用を促進することで、多様な交流や活動が生まれる魅力的な地域景観を形成します。

※景観資源図は、景観まちづくり市民検討会での検討と小中学生へのアンケートをもとに作成しています。
※標高を示すグラデーションが急に変わっている箇所は、府中崖線（布田崖線）や国分寺崖線を形成する崖地になっています。



04 八雲台小学校区



位置

市の中央に位置し、布田駅北に位置する校区です。

景観特性

■野川の桜並木等による潤いある景観の形成

地区を西から東へと流れる野川には、川沿いに桜の木が植えられており、緑豊かな景観を形成しています。また、桜並木は、市外からの来訪者の交流の場として貴重な自然景観となっています。

■旧甲州街道沿道の趣を残す街並み

地区を横断している旧甲州街道沿道には、古くからの蔵や住宅が残り、宿場町の面影を感じさせる街並みが残されています。

■農地と一体となった良好な住宅地

野川沿いには、住宅地と農地が広がっており、野川の潤いある景観と合わせて、落ち着いた景観を形成しています。

■主要道路により市の南北を結ぶ玄関口

中心市街地の東に位置し、商業・業務機能が多く立地するとともに、甲州街道や京王線布田駅が位置する交通に便利な地区となっています。さらに、三鷹通りや祇園寺通りが通っており、市の中心市街地と北部地域を結ぶ玄関口となっています。

景観まちづくり方針(案)

●野川の潤いある緑豊かな景観を継続的に保全・活用します

・野川沿いの桜並木と周辺の農地を一体的に保全し、四季折々の自然の潤いを感じられる景観を守るとともに、市民に親しまれるイベントの開催などにより、市民に身近な環境を維持します。
・緑の保全活動を支援し、地域住民が自然と共生できる環境づくりを推進します。

●旧甲州街道の歴史的街並みを生かした魅力あるまちづくりを進めます

・蔵や旧家といった歴史的建築物の保存と適切な活用を進め、街道沿いに趣と風格のある景観を形成します。
・地域資源としての歴史的景観を市民や来訪者に分かりやすく伝え、にぎわいと交流の場を創出します。

●鉄道敷地遊歩道や主要道路沿いをにぎわいのある地域の玄関口として整備します

・京王線地下化により生まれた鉄道敷地を遊歩道として活用し、市民の憩いの場としてにぎわいを創出します。
・主要道路沿いの緑化や歩行者環境の向上に取り組み、快適で親しみやすい街並みづくりを推進します。



甲州街道からわずか 30m の場所に点在する農地は、緑や自然の豊かさを感じ、景観に安心感を与えてくれます

調布ヶ丘三丁目の農地 新

八雲台小学校正面入口の右側に隣接する小道。車の往来が少なく、緑豊かな道路は小学校に必要な道路環境です

緑の小道 新

春の野川両岸に並ぶ桜並木は、多摩地域でも有数。市民の憩いの場として長く保存してほしい景観です

野川 子

歩道の花壇 新

春の歩道の花壇には様々な花々が植えられ、道行く人も足を止め楽しんでいます

カラフルな舗装 新

旧甲州街道の歩道には、アスファルトではなくカラフルなインターロッキングブロック舗装が施され、旧商店街の景観を引き立てています

常性寺 八景

境内には本堂のほか不動堂、薬師堂があり、布田のお不動さんとして地域の人々にも信仰されています

鉄道敷地 新

京王線地下化により誕生した線路跡地が遊歩道として整備されました。令和7年には愛称が「ちょうふぼっぽみち」に決まり、市民に親しまれる場所を目指しています

國領神社の千年乃藤 新 八景

樹齢約 400 ～ 500 年といわれる藤の木は、毎年4月下旬から5月下旬にかけて開花し、薄紫色の花房と甘い香りが見る人を楽しませてくれます

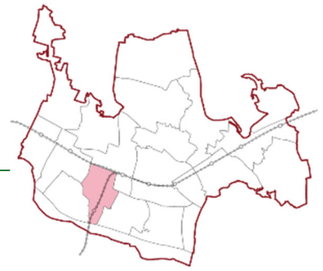
※景観資源図は、景観まちづくり市民検討会での検討と小中学生へのアンケートをもとに作成しています。

05 富士見台小学校区

〈崖線が通る小学校区（崖線の大まかな位置は、P13の図を参照）〉

位置

市南部に位置し、京王多摩川駅を含む校区です。



景観特性

■中心市街地と京王多摩川駅周辺の活気ある商業地

地区の北東部は、市役所等の公共施設や商業・業務機能が集積した中心市街地の景観の一部を形成しています。京王線の地下化や踏切の解消により、以前と大きく風景が変化しました。

さらに、地区南部には京王多摩川駅があり、京王閣競輪場の立地等により、周辺には飲食店街が形成されています。

■低層住宅が広がる落ち着いた住宅地の景観

地区の南部は、低層住宅地が面的に広がる落ち着いた景観を形成しています。地区内には、農地も残っており、ゆとりある住環境が形成されています。

■市民の憩いの場となっている多摩川の潤いある景観

多摩川沿いには、散歩道やスポーツ・レクリエーション施設等が整備され、市民の憩いの場として潤いある景観を形成しています。

景観まちづくり方針（案）

●多様な機能が調和しにぎわいと親しみやすさを両立した街並みを形成します

・駅周辺ではマンションや店舗の増加により人口が増え、にぎわいが生まれています。

・京王多摩川駅周辺の開発動向など新たな拠点形成も踏まえ、地域の活力を高めつつ、地域住民や訪れる人が親しみやすく感じられる街並みの創出を目指します。これにより、多様な世代が交流できる魅力あるまちづくりを推進します。

●低層住宅地と農地が残る落ち着いた景観を保全･継承します

・地区南部では低層住宅や農地が点在し、空が広くゆとりのある住環境が形成されています。この落ち着いた景観は地域の貴重な資源であり、子どもが安心して暮らせる住環境を維持するため、景観の保全に努めます。

・緑豊かな自然と調和した環境づくりを進めることで、住民の安心・快適な生活環境を守ります。

●多摩川沿いの自然景観を保全し、市民の憩いの場として活用します

・多摩川の豊かな自然や水辺の風景は地域の重要な資源です。散歩道やレクリエーション施設と連携し、誰もが気軽に訪れて憩える場として保全・活用を図ります。

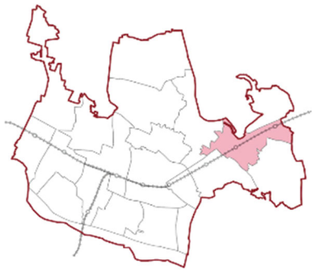
・かつては多摩川の浸水被害を経験した低地部では、自然環境と都市機能が調和した景観を将来にわたって継承していきます。



※景観資源図は、景観まちづくり市民検討会での検討と小中学生へのアンケートをもとに作成しています。
※標高を示すグラデーションが急に変わっている箇所は、府中崖線（布田崖線）を形成する崖地になっています。

06 滝坂小学校区

〈崖線が通る小学校区（崖線の大まかな位置は、P13の図を参照）〉



位置

市東部に位置し、つつじヶ丘駅等を含む校区です。

景観特性

■武蔵野の面影を感じることのできる農地や屋敷林の景観

地区南部等には、農地や屋敷林が比較的残っており、武蔵野の面影を感じさせ、地区を南北に流れる入間川とともに貴重な自然景観を形成しています。

■せんがわ劇場等による文化を感じさせる街並み

仙川駅東側を通る道路沿道では、せんがわ劇場等が立地し、舞台芸術の創造及び発信の拠点として、文化が感じられる街並みを形成しています。

■つつじヶ丘駅や仙川駅周辺のにぎわいある商業地

つつじヶ丘駅は、急行電車が停車し、深大寺へのアクセス駅となっているとともに、駅周辺では商業施設が立地するにぎわいある景観を形成しています。また、仙川駅周辺には、地区計画制度によって良好な街並みが形成されています。

景観まちづくり方針（案）

●駅前広場や周辺道路の整備による、にぎわいと文化の感じられる景観を形成します

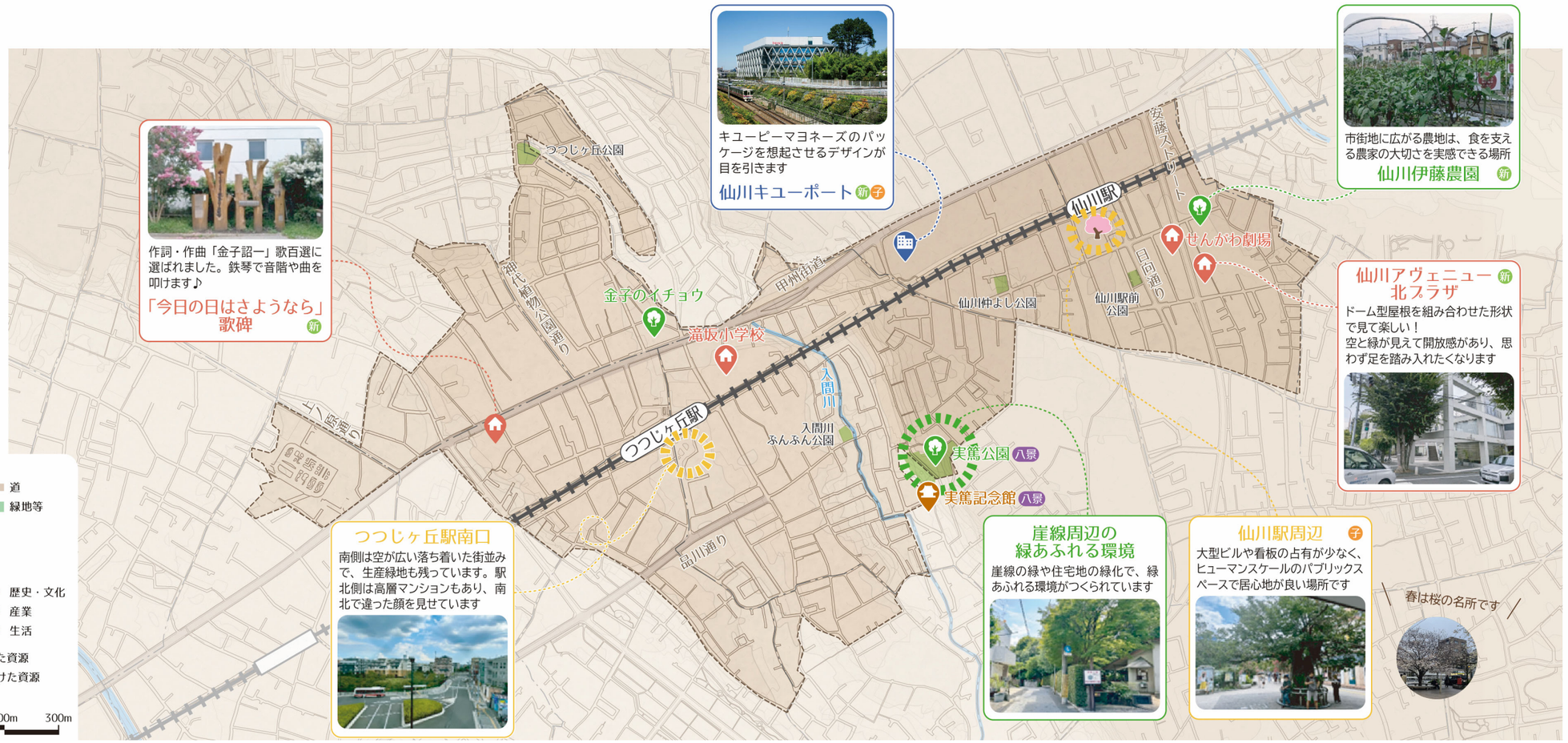
・つつじヶ丘駅周辺は深大寺の玄関口としての役割を強化し、南北で異なる表情を生かした魅力的な駅前景観づくりを進めます。
・安藤ストリートでは無電柱化や道路空間を活用し、文化とアートの発信拠点としての沿道景観の向上に努めます。

●新旧店舗の形態や意匠等の配慮による、魅力ある商業地の景観を形成します

・仙川駅周辺では、新しいイメージと、伝統的な商店街や歴史ある店舗の親しみやすさを融合させることで、多様な魅力を創出します。
・回遊性の向上や歩行者空間の整備により、地域のにぎわいと快適性を高める景観まちづくりを推進します。

●緑と農のある武蔵野らしい潤いの景観を継承・創出します

・四季折々の街路樹や植栽を積極的に導入し、沿道や住宅地に自然の潤いと季節感を演出します。
・都市農地や農業体験の場を活用し、地域の貴重な自然景観を守りながら住民の暮らしに豊かさをもたらすまちづくりを目指します。



※景観資源図は、景観まちづくり市民検討会での検討と小中学生へのアンケートをもとに作成しています。
※標高を示すグラデーションが急に変わっている箇所は、国分寺崖線を形成する崖地になっています。

07 深大寺小学校区

〈崖線が通る小学校区（崖線の大まかな位置は、P13の図を参照）〉



位置

市北部に位置し、深大寺などを含む校区です。

景観特性

■国分寺崖線の豊かな斜面緑地

地区内は、国分寺崖線により北側の台地と野川が流れる低地面となっています。国分寺崖線の斜面は豊かな緑地となっており、良好な自然景観が残っています。

■歴史的趣を感じることのできる深大寺周辺

地区内には深大寺が位置しており、寺前通りや参道には深大寺そば等の歴史的趣を感じることのできる飲食店が建ち並び、良好な街並みを形成しており、全国からの観光客でにぎわっています。

■潤いを感じさせている神代植物公園や水生植物園

地区内には神代植物公園や水生植物園が位置しており、地区に豊かな緑を提供し、潤いや安らぎを感じさせる景観を形成しています。

■中心市街地と深大寺や神代植物公園を結ぶ武蔵境通り等の景観

深大寺や神代植物公園と市の中心市街地は、武蔵境通りや三鷹通りなどによって結ばれており、武蔵境通り沿道では、歩行者が安心して通行ができる空間が確保されています。

景観まちづくり方針（案）

●国分寺崖線や野川の高低差がつくり出す豊かな自然景観を保全し、自然との調和を図ります

・国分寺崖線や野川、坂道の高低差、間を走る中央自動車道がつくり出す景観の特徴を尊重するとともに、校区内に残る斜面緑地や野川流域の自然環境を保全し、豊かな緑の連続性を確保します。
・小さな緑地や農地も含めた緑のネットワークを強化して、地域全体の一体感を創出します。

●深大寺と周辺の歴史・文化的資源を生かし、魅力的でにぎわいのある景観を形成します

・深大寺を中心に、寺前通りや参道の歴史的な街並みと自然環境を調和させた景観を保全・創出し、地域の観光資源としての魅力を高めます。
・神代植物公園や水生植物園と連携し、緑豊かで落ち着いた空間を維持するとともに、観光客や市民が安心して楽しめるにぎわいづくりを推進します。

●武蔵境通りなどの主要道路の歩行者環境を整備し、観光資源へのアクセス向上を図ります

・武蔵境通りや三鷹通り沿道の歩行者空間を充実させ、安全で快適な通行環境を確保します。
・景観デザインの工夫により、通り沿いの景観美を高めるとともに、地域の特色を生かした案内サインや街路樹の整備を推進します。



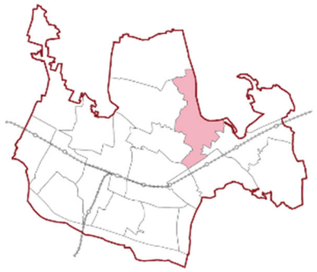
※景観資源図は、景観まちづくり市民検討会での検討と小中学生へのアンケートをもとに作成しています。
※標高を示すグラデーションが急に変わっている箇所は、国分寺崖線を形成する崖地になっています。

08 上ノ原小学校区

〈崖線が通る小学校区（崖線の大まかな位置は、P13の図を参照）〉

位置

市北東部に位置し、各社工場などが集まる校区です。



景観特性

■国分寺崖線や住宅地内の高低差と緑の景観

地区内には、国分寺崖線が通っており、高低差や台地の景観が特徴的であるとともに、比較的少なくなっているものの斜面地に緑が残っています。

中央自動車道が国分寺崖線を横断しており、生活道路の下を通る幹線道路が高低差を感じさせます。

住宅地内には、農地が点在しており、潤いを感じることのできる貴重な緑となっています。

■嚴嶋神社等の貴重な歴史資源

地区内には、嚴嶋神社等の寺社が点在しており、住宅地や農地等が広がる中で貴重な歴史資源となっています。

■消防大学校などの大規模施設と一体となった落ち着いた街並み

地区内に位置する消防大学校が一定程度まとまった敷地を有しており、敷地内には緑も計画的に配置されており、周辺の低層住宅地とともに落ち着きのある街並み景観を形成しています。

景観まちづくり方針（案）

●国分寺崖線の斜面緑地や高低差を生かした自然調和の景観を保全・再生します

・国分寺崖線の斜面地に残る緑や坂道からの眺望を保全し、緑の保全と再生利用を推進します。これにより、四季折々の自然の変化を感じられる豊かな景観を育みます。

・地域の緑資源を活用し、伐採木の再生利用や緑化活動を通じて持続可能な景観づくりを目指します。これにより、地域住民の環境意識の向上と自然との共生を促進します。

●住宅地・農地の緑をつなぎ、潤いと落ち着きを感じる低層住宅地景観を形成します

・住宅地の庭先や公開空地を緑化し、点在する農地と連携した緑のネットワークづくりを進めます。これにより、地域全体で潤いのある住環境を守り育てます。

・住民主体の緑づくりを支援するとともに、他都市との情報交流を図り、緑化技術やアイデアの共有を促進します。低層住宅地における緑の創出に向けた具体的な方策を検討します。

●歴史資源や大規模施設と調和した、品格ある街並み景観を育みます

・嚴嶋神社などの歴史的な寺社や消防大学校の緑豊かな敷地を保全し、それらが地域景観の核となるよう連携を図ります。歴史と自然が調和した落ち着いた街並みを形成します。

・歴史資源と現代の施設が共存する魅力ある地域景観をつくるため、地域の風格を尊重しながら、歩いて楽しめる環境整備やにぎわいの場づくりに取り組みます。



※景観資源図は、景観まちづくり市民検討会での検討と小中学生へのアンケートをもとに作成しています
※標高を示すグラデーションが急に変わっている箇所は、国分寺崖線を形成する崖地になっています。

09 石原小学校区

位置

市北西部に位置し、調布インターチェンジを含む校区です。



景観特性

■調布中学校の桜等の地域に残る貴重な自然資源

調布中学校の正門から校舎までは桜並木がのびており、春になると桜が花をつけるなど四季の移ろいを感じさせます。

■地域の歴史を継承している八幡神社

八幡神社は、創建が延宝（1673～81年）以前となっており、神社林が豊かな景観を形成しています。旧甲州街道からの 参道は面影を残していないものの、八幡神社があることで地域の歴史を脈々と継承しています。

■広域交通の玄関口となっている調布インターチェンジ

市の東西交通の軸である甲州街道沿道には中央自動車道の調布インターチェンジが位置しており、市の広域交通網の玄関口となっています。

景観まちづくり方針(案)

●桜並木や緑のネットワークを生かし、四季の魅力を感じられるまちを形成します

・調布中学校の桜並木をはじめとする既存の緑を計画的に保全し、散策路や街路樹の連続性を高めることで、四季の移ろいを感じながら歩いて楽しめる回遊性の高い景観を育てます。
・桜マップの活用など季節ごとの魅力発信を進めるとともに、地域住民や来訪者が緑に親しみ、地域への愛着を深められる仕組みづくりを推進します。

●八幡神社を中心とした歴史と自然を継承し、地域の誇りを育む景観を守ります

・八幡神社の社林や周辺の緑地を地域の歴史・自然資源として捉え、静けさや落ち着きのある景観を守りながら、寺社と自然が一体となった環境を維持・保全します。
・歴史や由緒を伝える案内板の整備や地域行事の継続を図ることで、世代を超えて地域文化を共有できる環境を整え、地域の誇りを継承します。

●調布インターチェンジ周辺の景観を改善し、調布の玄関口としての魅力を高めます

・校区内を横断する中央自動車道と高架下が、特徴的な景観をつくり出しています。高架下の活用方法を検討することで、新たな魅力ある景観の創造に取り組みます。
・市の広域交通の要所である調布インターチェンジ周辺を都市の玄関口として位置付け、植栽や看板類の整理などにより、安全で美しく調和のとれた景観の創出を進めます。
・地域ならではの景観要素を踏まえたサイン整備や緑化を推進し、来訪者が「調布らしさ」を感じられる質の高い景観づくりを図り、まちのイメージ向上につなげます。

●良好な住宅地景観を継承し、快適で調和のとれた居住環境を維持します

・「アトラス調布」に代表される整然とした住宅地景観を参考に、建物のデザインや街並みの特性を共有し、地域全体で良好な住環境の維持・向上を図ります。
・公園や道路などの公共空間と住宅地が一体的に調和する景観形成を進め、緑豊かで安全・安心に暮らせる居住環境を将来にわたり確保します。

※景観資源図は、景観まちづくり市民検討会での検討と小中学生へのアンケートをもとに作成しています。

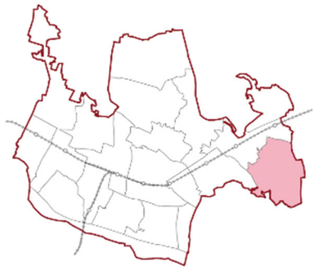


10 若葉小学校区

〈崖線が通る小学校区（崖線の大まかな位置は、P13の図を参照）〉

位置

市東部に位置し、良好な崖線樹林地が形成されている校区です。



景観特性

■豊かな自然を感じられる国分寺崖線等の緑と野川・入間川

地区内は国分寺崖線が通り、斜面地等には緑が残っているとともに、国分寺崖線の湧水に由来している野川・入間川が流れており豊かな自然を感じることができます。

■ちょうふ八景の一つに数えられる糟嶺神社と明照院の歴史景観

糟嶺神社と明照院は、ちょうふ八景の一つとなっており、陵山の丘を二分して高所に糟嶺神社、低所に明照院が位置しており、歴史や文化を感じることのできる景観を形成しています。

■市民に誇りを感じさせている実篤記念館と実篤公園

武者小路実篤の邸宅であった実篤記念館は、市外からの見学者も多く、市民に誇りを感じさせているとともに、隣接する実篤公園とともに緑豊かな潤いある景観を形成しています。高低差が生み出す坂道や階段と、自然の景観が特徴的です。実篤記念館と実篤公園はちょうふ八景の一つに数えられています。

景観まちづくり方針（案）

●国分寺崖線や斜面緑地の自然環境と調和した住宅地景観を形成します

・国分寺崖線や斜面の緑地など豊かな自然環境と、高低差が生み出す特徴的な景観を保全しながら、周辺住宅と調和する景観づくりを進めます。
・緑の開放感やゆとりを感じられる街並みを創出し、市民が心地よく暮らせる環境整備を図ります。

●入間川沿いの歴史と地形の特性を生かした親水景観の創出を図ります

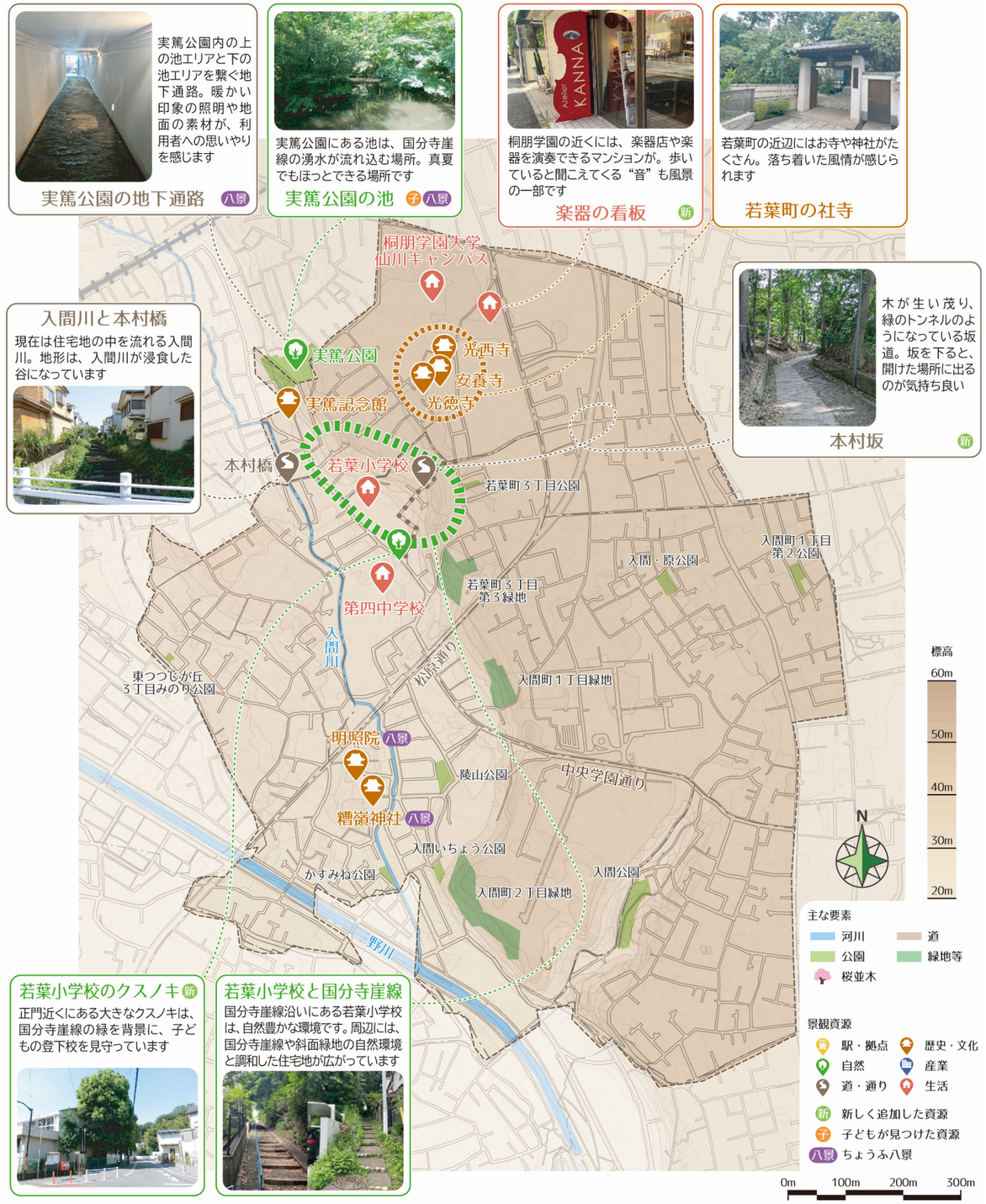
・入間川の流れや周辺の高低差を生かし、歴史や自然を感じられる親水空間を整備します。
・水辺の変化に富んだ景観や歩く楽しさを地域の個性として育み、訪れる人や住民が魅力を感じる景観づくりを推進します。

●歴史・文化資源の保存と地域の誇りを育む景観形成を進めます

・糟嶺神社や明照院、実篤記念館・実篤公園などの歴史的文化資源を守り、周辺環境と調和させます。
・市民や来訪者が地域の歴史や文化の価値を感じられる魅力的な景観を形成し、誇りを育てます。

●音楽文化を感じさせる街の魅力づくりを目指します

・周辺に音楽系学校や楽器店が立地している状況を踏まえ、「音」を景観の一要素として意識します。
・視覚だけでなく聴覚も含めた親しみや安らぎを創出し、音楽文化が息づく魅力ある街並みづくりに取り組みます。



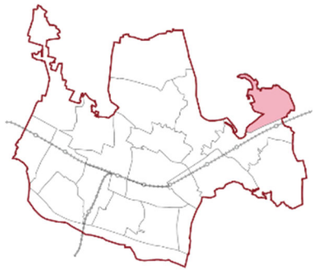
※景観資源図は、景観まちづくり市民検討会での検討と小中学生へのアンケートをもとに作成しています。
※標高を示すグラデーションが急に変わっている箇所は、国分寺崖線を形成する崖地になっています。

11 緑ヶ丘小学校区

〈崖線が通る小学校区（崖線の大まかな位置は、P13の図を参照）〉

位置

市北東部に位置し、仙川が南北に流れる校区です。



景観特性

■水と緑の潤いを感じさせる仙川が流れる景観

地区内には、仙川が北西から中央部を通り、東へと流れており、仙川崖線とともに、水と緑の潤いある景観が形成されています。

■文教施設や大規模住宅団地によるにぎわいのある街並み

地区内には白百合女子大学等の文教施設があることから若者が多く、さらに、都営調布緑ヶ丘二丁目アパート等の大規模住宅団地が位置しており、多くの住民が交流を図るなどにぎわいのある街並みを形成しています。

■八幡神社や昌翁寺等の貴重な歴史資源

地区内には、八幡神社や昌翁寺等の寺社が点在しており、住宅地等が広がる中で貴重な歴史資源となっています。

■多摩地域を支える甲州街道沿いの景観

地区南端には多摩地域の東西交通を支える甲州街道が通っており、沿道の街路樹により緑豊かな沿道を形成しています。

景観まちづくり方針（案）

●仙川沿いの水と緑の潤いを生かした景観の保全を図ります

・仙川や大学周辺の緑地、河川敷の樹木や花を保全し、四季の変化や水辺の潤いが感じられる景観を守ります。
・地域住民が日常的に触れる自然空間としての価値を高め、開発の進んでいない昭和らしさや癒しのまちとしての特色を維持します。

●中高層住宅地と低層住宅地の調和ある景観形成を図ります

・中高層住宅地では周囲の低層住宅や仙川の豊かな自然と調和した景観を意識し、圧迫感のない街並みづくりを推進します。
・都営調布緑ヶ丘二丁目アパートの、開かれた景観や住民と地域の交流を尊重し、自然の緑あふれる環境を維持します。
・住民の暮らしや個人の営みが見える景観を尊重し、生活感と潤いのある住宅地の魅力を維持します。

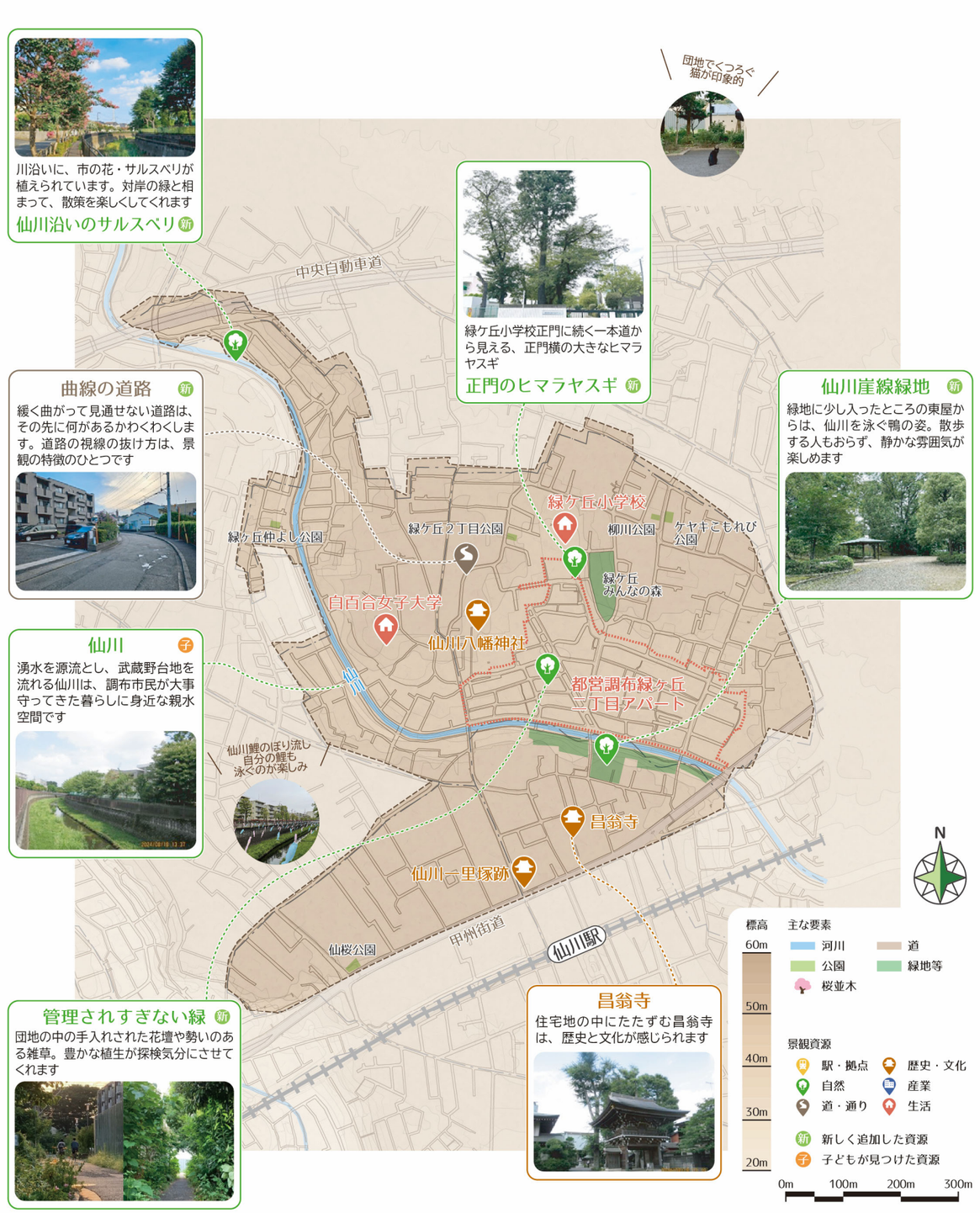
●歴史・文化資源を生かした街並みを保全します

・八幡神社や昌翁寺、甲州街道沿いの街路樹など、地域に点在する歴史・文化資源を保全し、周辺の住宅や商業地との景観調和を図ります。
・地域の歴史を感じながら生活できる街並みを維持することで、住民の誇りや地域文化の継承を促します。

●魅力ある商業地・生活空間の景観形成を目指します

・駅周辺や街道沿いの商業地では、新旧の店舗形態や意匠を配慮し、生活者や来訪者が安心して楽しめる景観を形成します。
・個人や事業者の営みがまちをつくる文化を尊重し、にぎわいと落ち着きのバランスに配慮します。

※景観資源図は、景観まちづくり市民検討会での検討と小中学生へのアンケートをもとに作成しています。
※標高を示すグラデーションが急に変わっている箇所は、仙川崖線や国分寺崖線を形成する崖地になっています。



12 染地小学校区

〈崖線が通る小学校区（崖線の大まかな位置は、P13の図を参照）〉



位置

市南部に位置し、多摩川に面した校区です。

景観特性

■沿線の緑地帯と一体となった多摩川の景観

本地区の多摩川沿いでは、樹高の高い緑地帯が形成されており、多摩川の雄大な水辺空間と一体となった景観を形成しています。

■ゆとりある住環境を形成している住宅団地

地区南部の大部分は、中高層棟の集合住宅によって形成された「ほとりとたまがわ（多摩川住宅）」となっています。団地内では、建替えが進むとともに、公園等のオープンスペースが計画的に整備され、ゆとりを感じることのできる大規模住宅団地の景観を形成しています。

景観まちづくり方針（案）

●多摩川沿いの豊かな緑地帯と一体となった自然景観を保全し、地域のシンボルを生かしたまちづくりを進めます

- 多摩川の雄大な水辺空間と連続性のある緑地帯を保全するとともに、地域のシンボルである蜂の巣校舎や給水塔など、景観資源を維持・活用します。
- 長い時間をかけて成長した樹木や並木を保全し、緑の骨格をなす景観を継承します。
- 市境や多摩川といった境界に位置し、自然と調和しながら変化を受け入れる地域の特徴を生かし、記憶を継承しながら持続可能なまちづくりを推進します。

●住宅団地のゆとりある住環境の質を高めます

- 大規模住宅団地の特徴であるオープンスペースや公園などの緑地を生かし、住環境の豊かさを維持します。
- 建替えに伴い、持続可能で個性ある街並み形成を目指すとともに、団地ならではの景観を継承し、地域の魅力向上に努めます。

●地域の交流拠点としての景観形成を推進し、地域コミュニティの活性化を支えます

- 住民の日常生活の基盤となる団地内の商店街や広場空間や商業施設の景観を良好に保ちます。地域住民の交流や活動、買い物の場としての機能維持に努め、魅力的な街並みを創出します。
- 新たな施設整備や景観改善に際しても、地域の意見を尊重し、地域住民が誇れるまちづくりを目指します。



※景観資源図は、景観まちづくり市民検討会での検討と小中学生へのアンケートをもとに作成しています。
※標高を示すグラデーションが急に変わっている箇所は、府中崖線（布田崖線）を形成する崖地になっています。

13 北ノ台小学校区



位置

市北部に位置し、JAXA調布航空宇宙センターなどの研修施設が立地している校区です。

景観特性

■武蔵野の面影を感じさせる農地や屋敷林等の緑

地区内には神代植物公園をはじめとして、農地や屋敷林による緑地が残り、武蔵野の面影を感じさせています。また、農地の多くは生産緑地地区に指定され、地区内の貴重な自然景観となっています。

■富士嶽浅間神社等の貴重な歴史資源

明治時代に富士信仰が盛んになった際に建立された富士嶽浅間神社は地域の貴重な歴史資源となっているとともに、境内の緑により地域に潤いを創出しています。

■ゆとりのある空間を形成している幹線道路の景観

地区内には東八道路、武蔵境通り、三鷹通りが通っており、市外からの玄関口にもなっています。
道路整備が進む路線では、歩行者が安心して通行ができる空間が確保されており、ゆとりある景観を形成しています。

■JAXA調布航空宇宙センターの緑と一体となった落ち着いた住宅地の景観

本地区の東部に位置するJAXA調布航空宇宙センターには、敷地内のまとまった緑が創出されており、周辺の低層住宅地とともに落ち着いた街並みを形成しています。

景観まちづくり方針（案）

●落ち着きのある低層住宅地と緑豊かな環境の良好な景観を保全します

・落ち着いた低層住宅地と、それを彩る農地や屋敷林などの緑を維持します。武蔵野の面影を感じさせる自然景観を守り、静穏な住環境の継続を図ります。
・地域の歴史資源と調和した緑豊かな街並みの保全により、住民の日常生活に潤いをもたらします。

●眺望や空の広がりを生かした景観づくりを推進します

・高台に位置する地形を生かし、遠くまで見渡せる開放的な眺望や空の広さを守ります。これにより、地域の魅力である自然の開放感を実感できる景観づくりを進め、住民が快適に暮らせる空間を創出します。
・子どもや親子連れが安全に遊べる小公園の景観維持にも取り組みます。

●地域の緑と調和した大規模施設の景観形成とにぎわいの創出を図ります

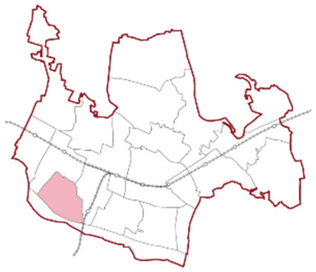
・大規模施設のまとまった緑と、周辺の低層住宅地との調和を図ります。
・緑豊かで落ち着いた景観を基本としつつ、色彩の工夫などにより、地域ににぎわいや魅力を創出します。地域資源を生かした景観まちづくりにより、魅力的な街づくりを推進します。



※景観資源図は、景観まちづくり市民検討会での検討と小中学生へのアンケートをもとに作成しています。

14 多摩川小学校区

〈崖線が通る小学校区（崖線の大まかな位置は、P13の図を参照）〉



位置

市南西部に位置し、多摩川に面した校区です。

景観特性

■多くの動植物が生息する貴重な自然景観となっている多摩川

多摩川は、憩いの場として市民に潤いを与える憩いの場となっているとともに、河川敷では、多くの動植物が生息する貴重な自然景観となっています。

■工場や流通施設の集積した景観

地区内の特に西側は、その大半が準工業地域に用途地域が指定されており、多くの工場や流通施設が集積した景観を形成しています。

■マンション建設等による住工混在した景観

地区西側には工場等が集積していますが、工場等の跡地にマンションが建設されており、住宅と工場等が混在した景観が形成されつつあります。

景観まちづくり方針（案）

●多摩川の自然景観と緑のネットワークを保全・活用します

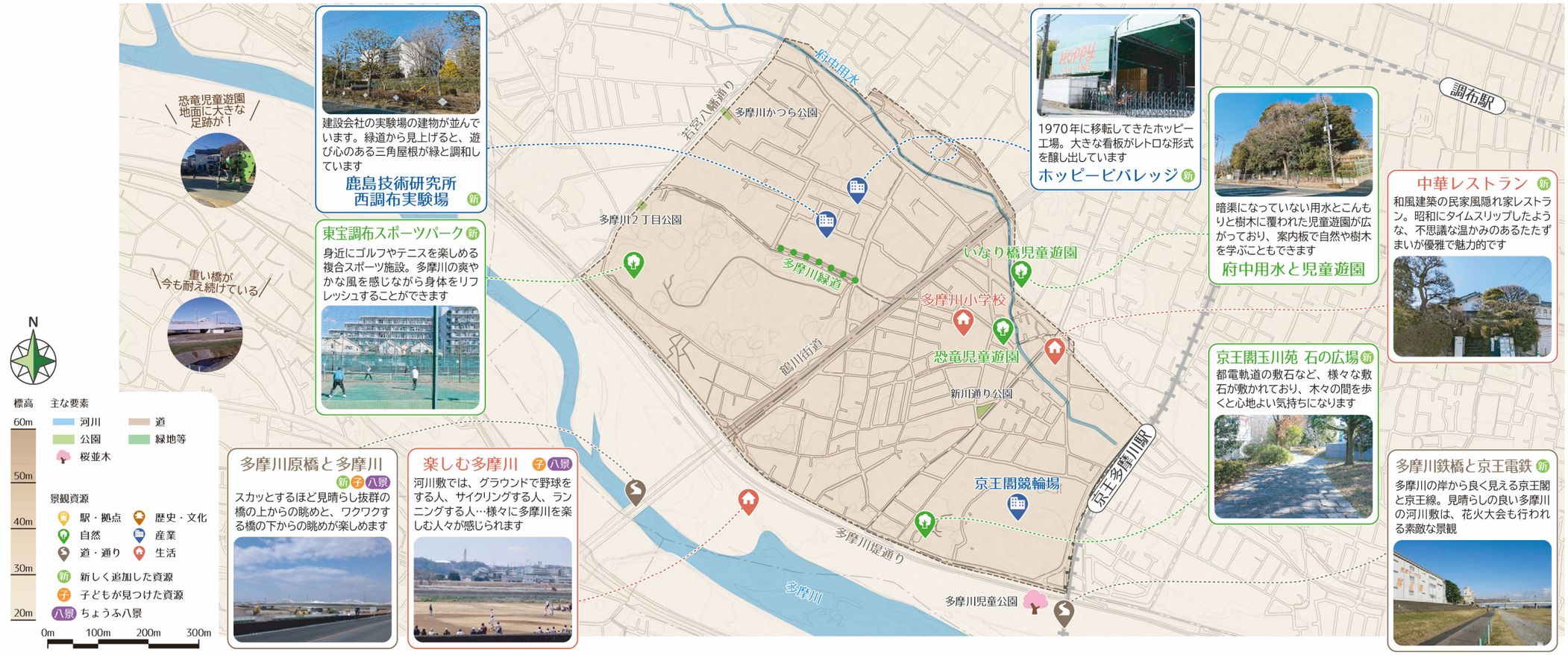
・多摩川に至る坂道からの景色の移り変わりと、豊かな自然環境や市街地に残る緑を面的に保全し、街路樹や公園を結ぶ緑のネットワークを形成することで、市民の憩いの場の充実を図ります。
・川沿いの散策環境や安全性を高めることで、季節ごとの自然の魅力を日常的に感じられる地域づくりを進めます。

●歩いて楽しめる景観と地域文化を継承します

・多摩川原橋からの眺望やホッピービバレッジ工場、京王閣玉川苑の石の広場、府中用水沿いの風景など、歩いて楽しめる多様な景観を維持します。
・また、地元の飲食店や古くからの店舗が継続的に利用されることで地域らしい風景が維持されるよう、住民や来訪者が交流し文化を育む環境をつくります。

●住工混在地域における調和ある街並み形成を図ります

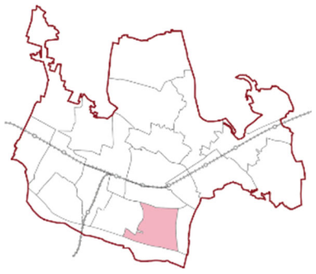
・工場・流通施設とマンションが混在する地域において、建物の配置や緑地の確保、歩行空間の改善などにより、住環境と工業機能の調和を図ります。
・また、工業系の景観が周辺住宅地と無理なく共存できるよう、景観上の配慮を行うことで、安全・安心に暮らせる街並みを将来にわたり維持します。



※景観資源図は、景観まちづくり市民検討会での検討と小中学生へのアンケートをもとに作成しています。
※標高を示すグラデーションが急に変わっている箇所は、府中崖線（布田崖線）を形成する崖地になっています。

15 杉森小学校区

〈崖線が通る小学校区（崖線の大まかな位置は、P13の図を参照）〉



位置

市南部に位置し、多摩川に面した校区です。

景観特性

■四季折々の風景を楽しませている多摩川沿いの景観

多摩川沿いの桜堤通りは、桜並木や新緑などにより四季折々の風景を感じさせ、遊歩道を歩く人々を楽しませています。

■東洋のハリウッドを思い起こさせる日活調布撮影所周辺の景観

市はかつて「東洋のハリウッド」と呼ばれ、戦後、大衆文化を支えた映画文化の発信地となっていました。日活調布撮影所やその周辺では映画に関連する施設や撮影風景を見ることができ、「映画のまち調布」を感じさせる景観を形成しています。

■良好な住環境を形成する集合住宅地の景観

地区東部には、多摩川住宅が西端を形成しているとともに、地区内に多くの集合住宅が集積しています。それらは、ゆとりあるオープンスペースや緑豊かな環境により、良好な住宅地の景観を形成しています。

景観まちづくり方針（案）

●戸建住宅や集合住宅地において、住みやすい住宅地の景観形成を推進します

・低層住宅の良好な眺望環境を保全し、建物の高さや配置に配慮することで、開放感と快適な生活環境を維持します。
・住宅地内の緑やオープンスペースを生かし、住民が安心して暮らせる潤いのある街並みづくりを目指します。

●生産緑地地区や多摩川沿いの自然環境を生かし、ゆとりと潤いが感じられる景観づくりを推進します

・生産緑地地区の緑や府中崖線の自然、多摩川の水辺環境をつなぎ、多様な緑と水の景観を地域全体で保全します。
・緑地の景観資源を守るとともに、散策路や遊歩道、並木などの整備や維持により、住民が自然を身近に感じられる環境づくりに努めます。

●日活調布撮影所をはじめとした映画文化の歴史を継承し、地域の魅力を高める景観づくりを進めます

・撮影所周辺の歴史的建造物や景観を保全し、「映画のまち調布」としての文化的価値を未来へつなげます。
・映画文化を生かした市民参加や協働の機会の創出など、地域のアイデンティティを表現する取組を支援します。



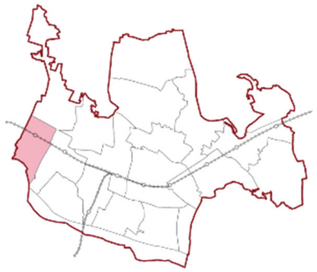
※景観資源図は、景観まちづくり市民検討会での検討と小中学生へのアンケートをもとに作成しています。
※標高を示すグラデーションが急に変わっている箇所は、府中崖線（布田崖線）を形成する崖地になっています。

16 飛田給小学校区

〈崖線が通る小学校区（崖線の大まかな位置は、P13の図を参照）〉

位置

市南西部に位置し、飛田給駅を含む校区です。



景観特性

■府中崖線や農地による緑豊かな景観

地区南部には府中崖線が通っているとともに、農地等が残っていることから、緑豊かでゆとりある景観が形成されています。

■旧甲州街道や道生神社等の貴重な歴史景観

地区内には、宿場町のなごりである間口の狭い敷地が残る旧甲州街道や旧甲州街道の北側から戦時中に移した「道祖神」や「境内地奉納之碑」が建つ道生神社等の貴重な歴史資源が位置しています。

■スタジアム通りのにぎわいのある景観

地区内には、味の素スタジアムへと続くスタジアム通りがあり、市内外の人々が通るにぎわいのある景観を形成しています。また、飛田給駅前には小規模店舗等が集積した商業地を形成しています。

■台地上に形成された緑豊かな住宅地

品川通り沿いの台地上には、生垣等の緑化により緑豊かな潤いを感じることのできる住宅地が形成されています。

景観まちづくり方針（案）

●魅力あるにぎわいと交流の拠点を形成します

・駅前や味の素スタジアム周辺、スタジアム通りのにぎわいを生かし、イベント開催時だけでなく日常的にも人々が集い交流できる空間づくりを進めます。
・北側は整然とした街並みと大規模施設を生かした景観を維持し、駅前や歩行者空間の高質化、緑化の充実などにより、地域の魅力を高めるとともに、にぎわいの創出に寄与します。

●歴史的･文化的資源を生かした閑静な街並みを保全します

・旧甲州街道の街路空間や道生神社の歴史的資源を適切に保全し、路地や伝統的建物の趣を生かした静穏で風格ある街並みを守ります。
・南側に広がる住宅地や農地周辺の環境にも配慮し、地域固有の落ち着いた景観特性を将来へ継承するまちづくりを進めます。

●緑豊かで潤いのある住宅地を形成します

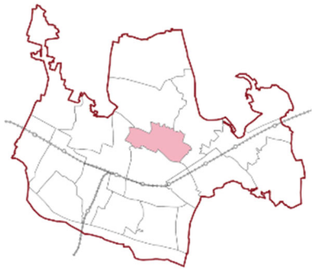
・府中崖線の地形特性や台地上の住宅地に広がる生垣・緑地を積極的に保全・活用し、自然と調和した潤いのある生活景観の形成を図ります。
・周辺に残る農地や公園、農家や市民との連携を深め、多摩川の水害対策にも配慮した、ゆとりある居住環境の確保と持続的な緑のネットワークの充実を目指します。



※景観資源図は、景観まちづくり市民検討会での検討と小中学生へのアンケートをもとに作成しています。
※標高を示すグラデーションが急に変わっている箇所は、府中崖線（布田崖線）を形成する崖地になっています。

17 柏野小学校区

〈崖線が通る小学校区（崖線の大まかな位置は、P13の図を参照）〉



位置

市の中央に位置し、野川が東西に流れる校区です。

景観特性

■市民に潤いを提供している野川や農地の自然景観

地区内には、野川が流れ、春には桜並木が美しい、自然豊かな景観を形成しています。また、住宅地内には農地が多く残されており、用水路とともに、住宅地内にゆとりと潤いを提供しています。

■虎狛神社等の地域の歴史を感じさせる景観

佐須街道付近にある虎狛神社は、境内に豊かな緑が残っているとともに、講社登山記念碑などがあり、地域の歴史を感じさせる歴史景観となっています。

■四季の移ろいを感じる野川サイクリング道路

地区の西側には、野川が流れ、その隣には野川サイクリング道路が通っており、市内・市外を問わず多くの住民の憩いのエリアとなっています。野川に面していることから、春夏秋冬さまざまな風景を見せ、地区の特徴的な景観を形成しています。

景観まちづくり方針（案）

●野川や農地をはじめとした水と緑が調和する潤い豊かな景観を守り育てます

・野川沿いや農地、用水路などの水と緑の自然資源を保全し、里山の風景や湧水、小河川の流れを見える形で保全します。
・地域住民の憩いの場であるとともに、季節ごとの四季の移ろいを感じられる景観資源の保全や、水辺が身近に感じられる親水性のある空間づくりを推進します。

●地域の歴史や文化を象徴する神社などの歴史景観を生かし、まちの魅力を高めます

・虎狛神社、祇園寺をはじめとする歴史的な神社や史跡を保存し、静かな雰囲気や緑豊かな環境を守りながら観光資源として活用します。
・歴史と自然が調和した地域の特色を内外に発信し、地域の誇りを育むことで持続可能なまちづくりに寄与します。

●生産緑地地区の維持と農業体験等を通じて「農」の伝承と地域の生活文化を継承します

・生産緑地地区は代替わりによる土地利用の変化が懸念されるため、農業体験などを活用しながら農の価値を次世代に伝えます。
・農地と都市住宅が共存する独自の景観を保ちながら、地域の豊かな生活文化や自然との共生を促進します。



※景観資源図は、景観まちづくり市民検討会での検討と小中学生へのアンケートをもとに作成しています。
※標高を示すグラデーションが急に変わっている箇所は、国分寺崖線を形成する崖地になっています。

18 国領小学校区



位置

市南部に位置し、国領駅を含む校区です。

景観特性

■野川がもたらす潤いのある良好な景観

地区東側を野川が流れ、緑豊かな自然景観を形成しています。また、野川周辺には住宅地が形成されており、川沿いの豊かな緑により潤いのある住環境を形成しています。

■国領駅周辺に広がる商業地の景観

国領駅は市の中心市街地の東に位置し、駅前の高層マンションの低層部には駅前広場に面して商業施設が配置されているとともに、駅周辺に商業・業務施設が建ち並ぶ景観を形成しています。

■緑豊かな住宅団地の集積した景観

地区内には多くの住宅団地が位置し、築年数が古いものは順次建替えが行われています。建替えられた団地では、オープンスペースや緑の多い良好な景観が形成されています。

景観まちづくり方針(案)

●駅前の商業・交流拠点の魅力を高めます

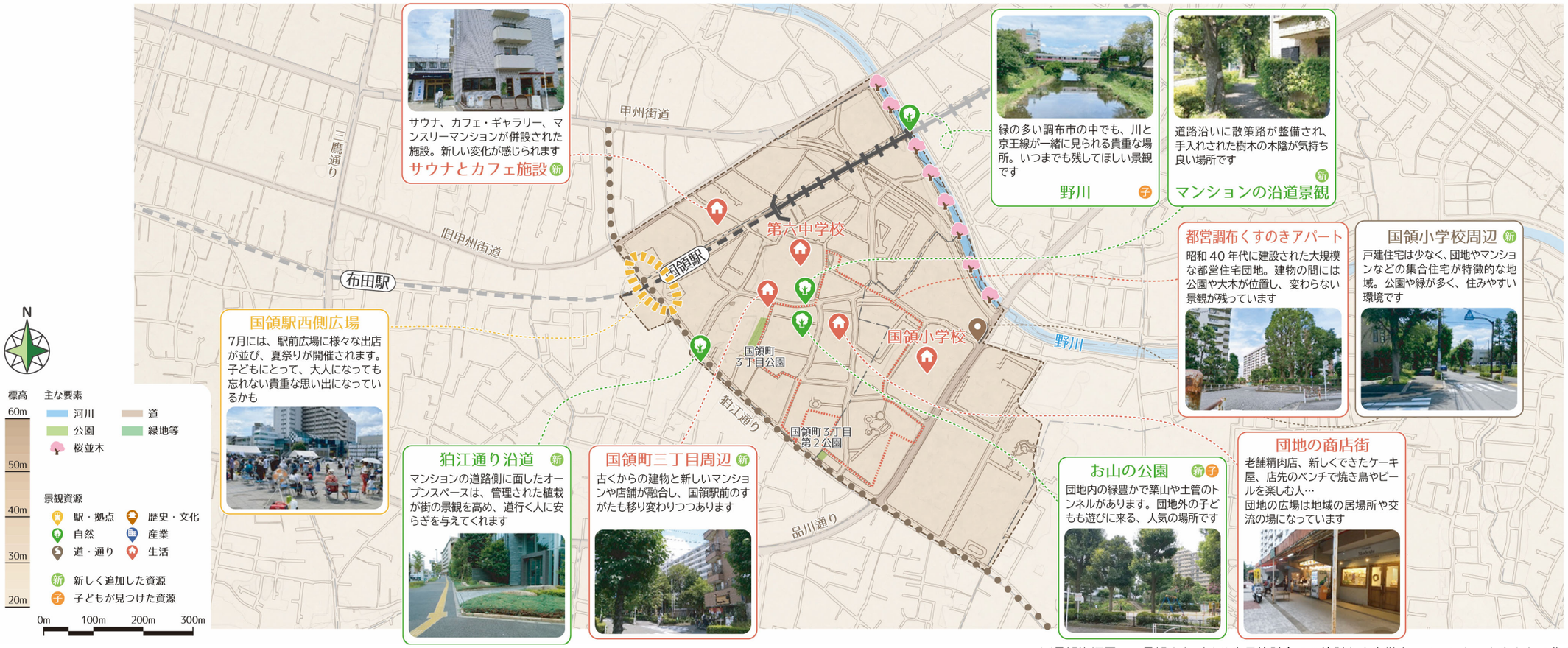
・国領駅周辺の大規模マンションや商業施設を生かし、駅前広場や歩行者空間の整備を進めることで、日常的に人々が集い交流できる街並みを形成します。
・京王線地下化後の鉄道敷地の整備や商店街の更新による商業機能を維持することで、地域のにぎわいと特色を両立させた景観づくりを推進します。

●野川や緑地と調和した潤いある住宅地を保全・形成します

・野川沿いの緑や住宅団地のオープンスペースを生かし、自然と調和した潤い豊かな住環境を維持します。
・保存樹木や公園の活用により、子どもや住民が安全に遊べる場を確保し、緑豊かで快適な景観を保全するとともに、地域の暮らしやすさを高めます。

●住宅団地の更新と歩行空間整備により安全で快適な景観を形成します

・築年数の古い団地の建替えでは、緑地やオープンスペースを充実させ、団地内外に開かれた景観を形成するとともに、周辺の住宅地や野川沿いの景観との調和を重視します。
・歩行者空間の整備や遊び場の確保などにより、子どもや高齢者も安心して暮らせる安全・快適な景観づくりを推進します。



※景観資源図は、景観まちづくり市民検討会での検討と小中学生へのアンケートをもとに作成しています。

19 布田小学校区

〈崖線が通る小学校区（崖線の大まかな位置は、P13の図を参照）〉



位置

市南部に位置し、多摩川に面した校区です。

景観特性

■市民に潤いを感じさせる雄大な景観を形成する多摩川

多摩川は、自然豊かで雄大な河川景観を形成しており、遊歩道を歩く人に潤いを感じさせています。また、週末には、河川敷でスポーツなどのレクリエーションが行われ、地域住民に根ざした地域景観の一つとなっています。

■府中崖線の緑と一体となった下布田遺跡

昭和62(1987)年に国史跡に指定された下布田遺跡は、都内でも希少な縄文時代晩期の遺跡であり、周辺の緑豊かな府中崖線の緑地と一体となった良好な景観を形成しています。

■映画のまち調布を感じさせる角川大映スタジオ周辺の景観

角川大映スタジオでは、映画やテレビ番組等の撮影が行われ、その周辺には映画俳優の碑など映画に関連する地域資源があり、「映画のまち調布」を感じさせる景観を形成しています。

景観まちづくり方針（案）

●多摩川の雄大な自然景観と桜堤通りの緑を保全し、開放感ある景観を形成します

・多摩川の河川敷は地域住民の憩いの場として重要な資源であり、開放感のある景観を維持・保全します。
・桜堤通りの桜並木や緑も継続的に保全し、自然と調和した心地良い街並みを目指します。

●府中崖線の緑と国史跡・下布田遺跡の価値を生かした歴史的景観を保全します

・国史跡の下布田遺跡は希少な縄文遺跡であり、崖線の緑と一体となった景観保全が不可欠です。
・富士山への眺望や高低差の特徴的な景観、農地を保全し、歴史と自然が調和した魅力ある環境づくりに努めます。
・住宅街に残る大木や、季節に合わせた装飾の工夫など、閑静な住宅地の景観を維持します。

●「映画のまち調布」としての地域資源を活用し、映画文化の魅力を発信します

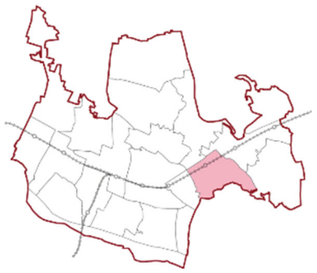
・角川大映スタジオ周辺の映画関連資源を生かし、地域の映画文化を積極的にPRします。
・映画俳優の碑や撮影所の歴史を活用した情報発信やイベントを通じて、「映画のまち」としての魅力を高めます。



※景観資源図は、景観まちづくり市民検討会での検討と小中学生へのアンケートをもとに作成しています。
※標高を示すグラデーションが急に変わっている箇所は、府中崖線（布田崖線）を形成する崖地になっています。

20 調和小学校区

〈崖線が通る小学校区（崖線の大まかな位置は、P13の図を参照）〉



位置

市南東部に位置し、柴崎駅を含む校区です。

景観特性

■憩いの場として活用されている野川の水辺景観

地区南部に流れる野川は、緑と水辺に親しむことのできる水辺景観として、住民の憩いの場となっています。

■八剱神社等の地域の歴史を伝える歴史景観

地区南部に位置する八剱神社は、江戸末期の作である十一面観音像が御神体となっており、地域の歴史を伝える歴史景観を形成しています。

■神代団地や閑静な住宅地の緑豊かな景観

地区の東部には、大規模住宅団地である神代団地が位置しており、建替えが進んでいます。
その西部に広がる閑静な住宅地では、緑豊かな落ち着いた景観を形成しています。

■柴崎駅周辺や甲州街道沿道のにぎわいある商業地

柴崎駅周辺には、市民が利用する商業店舗などが立地し、にぎわいある景観を形成しています。また、駅北側を通る甲州街道沿道には商業・業務施設が立地し、駅前とともに活気を感じさせています。

景観まちづくり方針（案）

●野川や水辺景観を生かした憩いと散策のまちを形成します

・野川沿いの緑と水辺景観を保全し、散策路やベンチ、自然観察の場などを整備することで、住民が安心して憩える空間を提供します。
・自然と親しむ活動を促進し、地域の日常生活に潤いを与えるとともに、四季折々の景観を楽しめる環境を整えます。

●歴史と懐かしさのある街並みを継承・活用します

・八剱神社や昭和期の住宅団地など、地域の歴史や文化を伝える景観資源を可能な限り保存し、懐かしさの感じられる街並みを維持します。
・古い建物や路地の魅力を生かしながら、移動のしやすさや快適性を確保した景観づくりを推進します。

●緑豊かでゆとりのある住宅地景観を形成します

・神代団地周辺や閑静な住宅地の緑地・生垣・樹木を保全・整備し、有機的に結ぶことで、潤いと安らぎのある住宅街を維持します。
・住民が日常的に緑を感じられる空間を確保し、周囲の自然環境や歴史的景観と調和した快適な住環境を形成します。



※景観資源図は、景観まちづくり市民検討会での検討と小中学生へのアンケートをもとに作成しています。
※標高を示すグラデーションが急に変わっている箇所は、国分寺崖線を形成する崖地になっています。



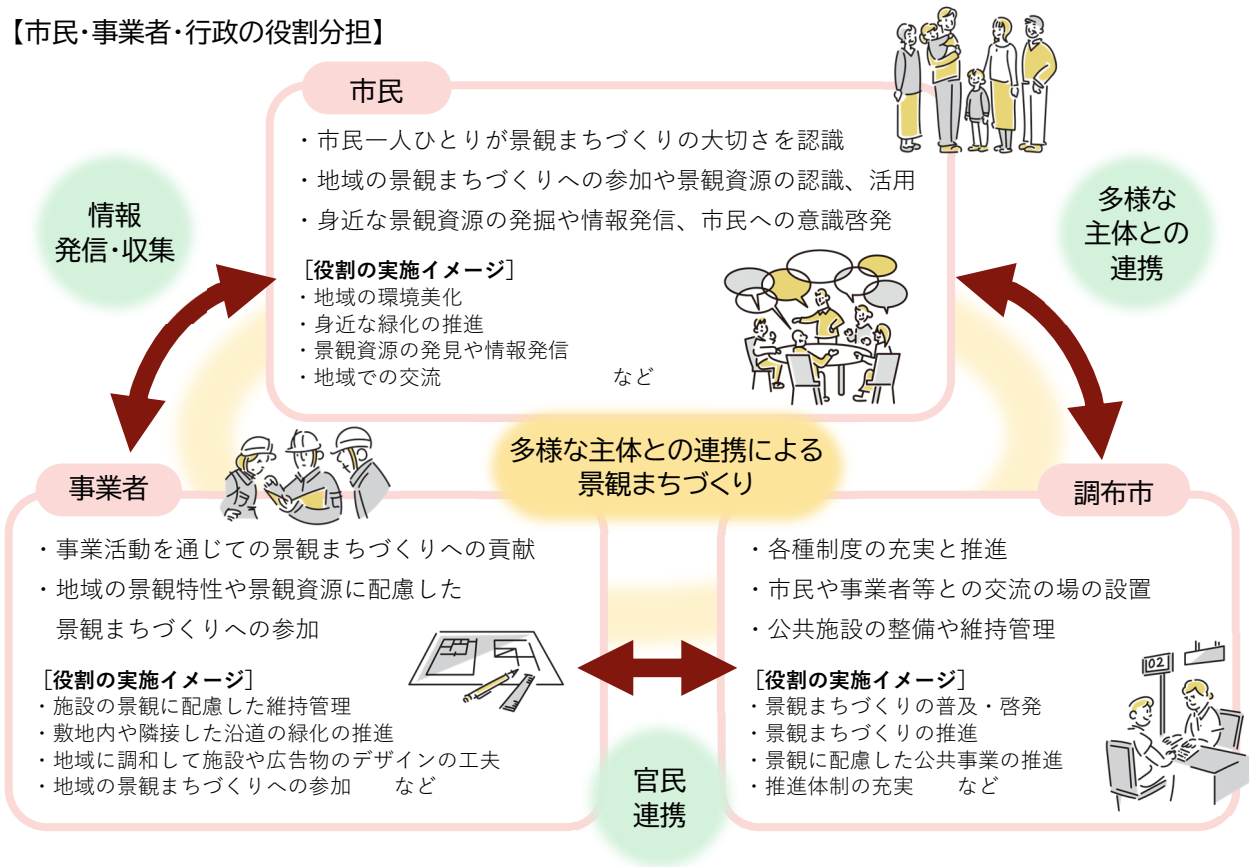
第８章　共創による景観まちづくり

８－１．景観まちづくりの取組

(1)景観まちづくりに関わる主体

調布市では、市民や関係団体、事業者など、多様な主体と連携・協力しながら景観づくりを進めていきます。また、各主体の知識や専門性を生かした役割分担と景観まちづくりへの参加を促します。

【市民･事業者･行政の役割分担】



(2)共創による景観まちづくりの目指す姿

市民主体の景観まちづくりの実現に向けて、市民・事業者・行政に加え、企業や大学など多様な主体が連携・協力し、それぞれが有する知見や特性を生かした適切な役割分担のもと、ともに考え、ともに行動する「共創」の取組を推進します。

各主体は、目的や知識を共有し、対話を重ねながらお互いの強みや特性を生かして課題解決や新たな価値の創出に取り組みます。

こうした持続的な取組により、地域の景観資源の発掘・活用を進め、全ての人にとって快適で魅力的な景観を育み、“ほっとする”調布市の景観を次世代へと継承していきます。

「共創」とは？

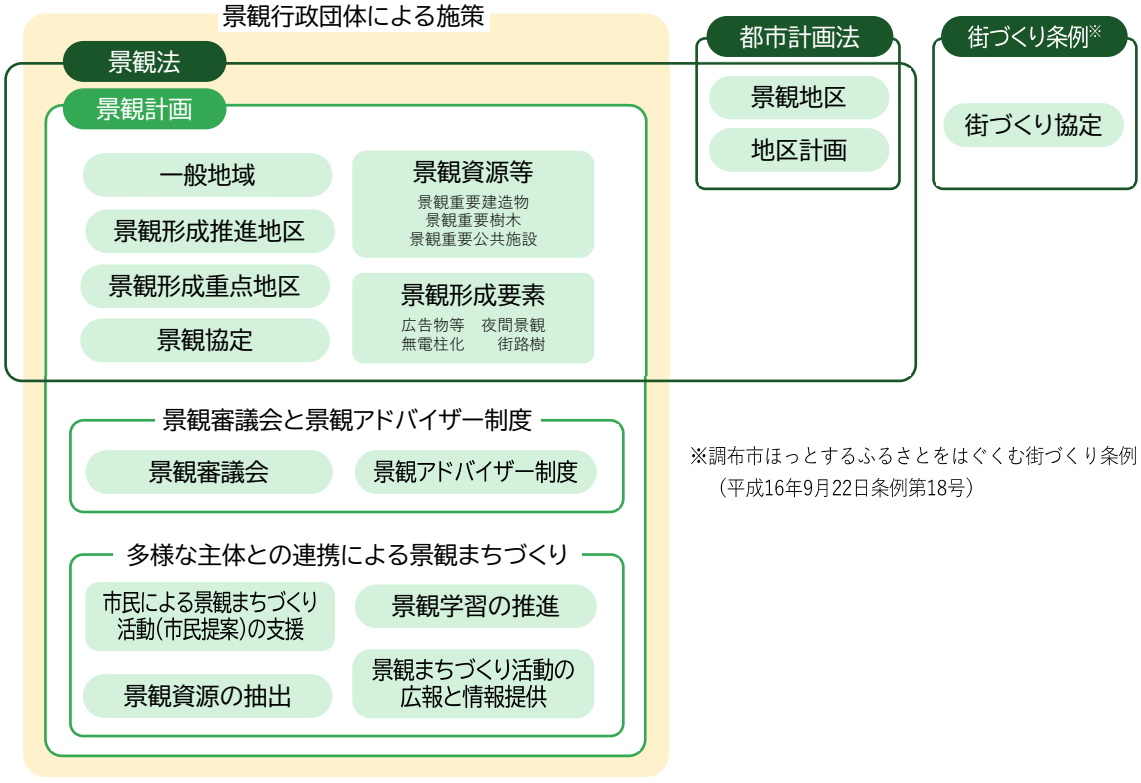
立場や目的の異なる多様な主体が、社会的課題の解決と経済的価値の両立を目指す中で、対話を重ねながら、お互いの強みを生かし、これまでにない新たな価値を生み出すこと（イノベーション）を指します。

市では、「共創」によるまちづくりの基本的な考え方や方向を示す指針として、令和８年５月に「調布市みらい共創ビジョン」を策定しました。

(3)調布市の取組

①景観条例等に基づく取組

市では、本計画に示す建築物の新築等の行為の届出により指導・助言等を行う一方で、市民や事業者との協働や、市民の活動を支援する景観まちづくりの取組として、以下に示すものを実施していきます。



景観まちづくりに対する景観行政団体等の取組

②その他の関連する取組

景観法や景観条例、本計画と連携しながら、様々な制度や事業を活用し、景観まちづくりの取組を行っていきます。

制度名	制度の概要	写真等
農の風景育成地区	・都市の貴重な農地を保全し、農のある風景を維持していくために東京都が創設した制度で、比較的まとまった農地や屋敷林が残る特色ある風景を形成している地区を指定するもの ・市では、深大寺南町1、2、4丁目及び佐須町4丁目の各一部を令和２(2020)年７月に「農の風景育成地区」に指定 ・自然環境資源の保全・活用の重点地区として設定するとともに、モデル地域として先導的事業を展開し、地域の環境保全・活用を図る	
花いっぱい運動	・明るく潤いと安らぎのある調布を目指して、花苗を植え、花を咲かせて地域の緑を豊かにすることを目的とした活動 ・「花いっぱい運動」を進める地域グループに対してその活動に要する経費を一部補助	
ふれあいの みちづくり事業	・きれいで住み良い環境や地域とのつながりづくりのため、市道や水路、あぜ道の清掃活動や美化活動を市民団体で行う事業 ・活動する団体に対して、草刈り道具、清掃道具などの資材の支給、ボランティア保険の加入を支援	
保全地区 保存樹木 保存生垣	・市内の緑を豊かにし、貴重な樹林や大木を後世に残すことを目的に、面積や規模など一定の基準を満たす樹林・樹木・生垣を保全地区・保存樹木・保存生垣として指定する制度 ・管理や剪定のための経費を一部補助	
生垣設置費用の補助	・緑豊かな街並みの形成や騒音の吸収、通風の確保を目的に、建築物の新築等に合わせて生け垣を設置しブロック塀などを撤去する場合の経費を一部補助	

※各制度・事業の詳細については、市ホームページをご覧ください。

８-２．景観まちづくりの具体的手法

(1)景観審議会と景観アドバイザー制度

①調布市景観審議会の設置･運用

市の良好な景観の形成に関する重要事項を調査、審議する機関として、調布市景観条例に基づき、調布市景観審議会を設置・運用します。

景観法に基づく届出内容に関する審議や、景観づくりに関する幅広い議論の場としていきます。

②景観アドバイザー制度の整備

景観計画区域内で行われる事業に対して景観計画の趣旨を十分に反映させるための助言や、住民主体の景観づくりに対するアドバイスなどを行うため、景観に関する専門的な知識を有する方々等で構成した景観アドバイザー制度を設けます。

(2)参加と協働による景観まちづくり

①市民による景観まちづくり活動の支援

市は、市民が主体となって市の景観まちづくりに取り組めるよう、市民提案による景観づくりの実践に向けた具体的な活動に対する支援を行うとともに、それらを効果的に実践するための仕組みを整備していきます。

現在、市では、「調布市ほっとするふるさとをはぐくむ街づくり条例」（平成16年9月22日条例第18号、以下「街づくり条例」という。）に基づいて、市民が主体となって取り組むまちづくりを進めています。これらのまちづくり活動の中においても、景観に関連する検討や取組等が積極的に行われているように、景観づくりは、まちづくりにおける重要な要素の一つです。

市は、街づくり条例等を活用し、良好な景観づくりを目指す活動に対してより積極的な支援ができるよう、市民のまちづくりに対する活動費用の助成、まちづくりの専門家の派遣等、各種の支援を実施していきます。

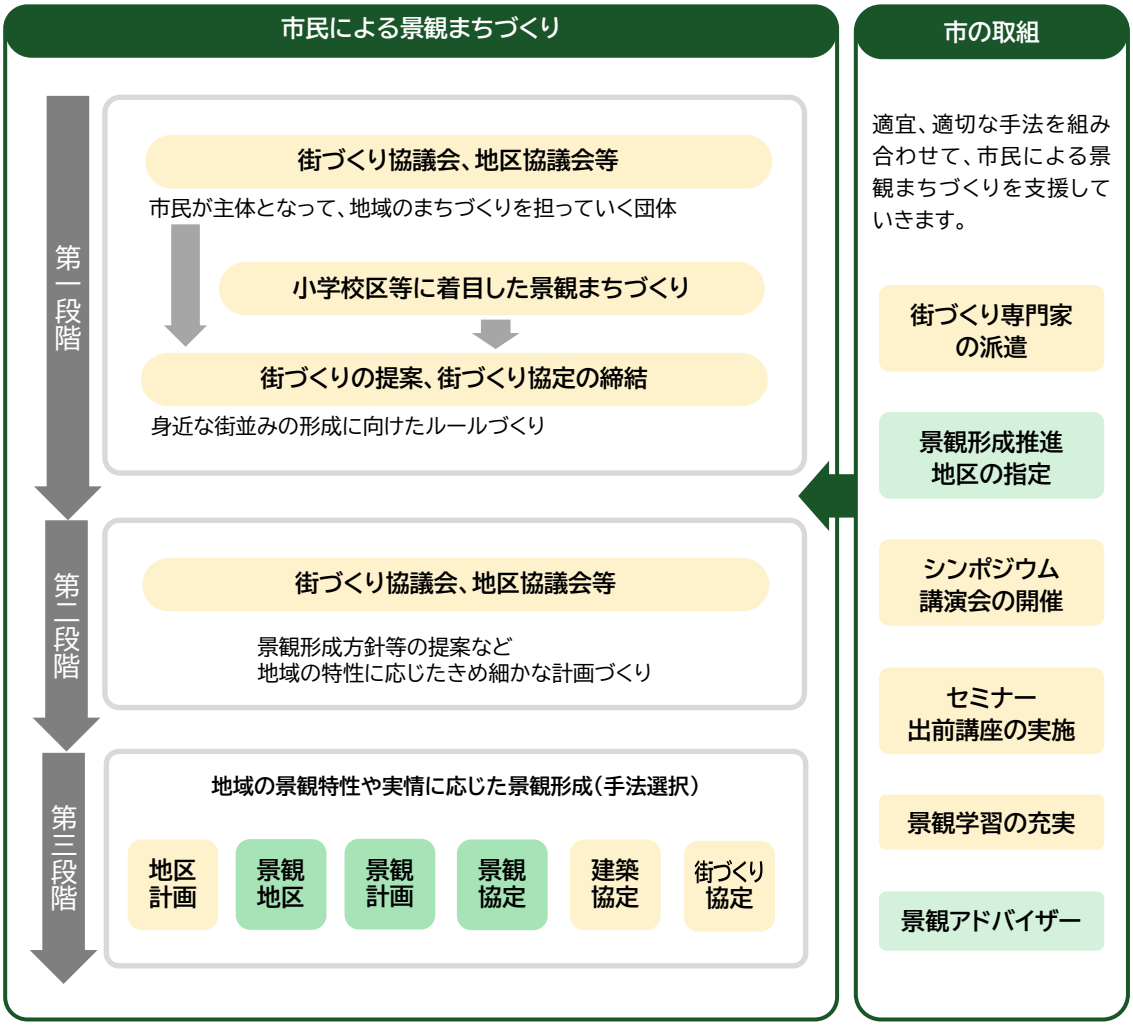
【市民提案による地域のルールづくり】

景観法の制度等を活用した地域のルールづくりに関して、市民提案の促進に向け取り組みます。

提案に向けた活動を行う団体は、街づくり条例に基づく街づくり協議会などへの登録を可能とします。登録団体には、地域住民の合意形成を図りながら、街づくり提案や街づくり協定の締結に向けた取組が進められるよう、市が活動に対する支援を行います。

【景観まちづくりの進め方】

市は、市民主体の景観まちづくりに対して、適時、適切な手法により支援していきます。



市民による段階的な景観まちづくり（イメージ）とそれに対する市の主な支援策

コラム

多摩川住宅における独自の景観ルール制定

・調布市染地に位置する多摩川住宅は、竣工後約60年を迎え、団地の再生と活性化が求められていました。

・平成21(2009)年に街づくり準備会の認定、平成24(2012)年に街づくり協議会の認定を受け、街づくり条例に基づき、建替えに向けた検討や住民発意の街づくり活動、街づくりルールの検討などを行ってきました。

・令和６(2024)年には、多摩川住宅に替わる新たなまちの名前を「ほとりとたまがわ」に決定し、新たな街づくりが進められています。



〈景観ルール〉

地区計画では定めきれない今後の街づくりのための景観配慮事項を抽出し、団地再生による景観的魅力の向上に資する空間構成の考え方や景観要素に関するデザインルールを定めています。

調布市景観まちづくり市民検討会

・市では、平成27(2015)年度から「調布市景観まちづくり市民検討会」を開催し、市民との協働による景観まちづくりを進めています。毎年様々なテーマで市内の景観に関する意見交換を重ね、令和７(2025)年度には第４期を迎え、参加者は延べ640名に達しました。
・市民検討会を通して収集した市内の貴重な景観資源や景観を構成する要素は、本計画の一部に反映しました。また、参加者が撮影した写真を計画内に活用しています。

年度	期	検討テーマ	主な内容	市民検討会の成果
平成27 (2015)	1	屋外広告物	・屋外広告物の景観の特徴の学習 ・屋外広告物のあり方の検討 	・景観形成ガイドライン（屋外広告物編） 
平成28 (2016)		身近な 景観づくり	・身近で素敵な景観の発見 ・調布の景観の魅力、身近な景観づくりの検討 	・景観形成ガイドライン（身近な景観づくり編） 
平成29 (2017)	2	深大寺	・深大寺の景観の特徴の学習 ・景観の見かた・伝え方の検討	・とりまとめ冊子『調布の景観－深大寺・国分寺崖線編－』 ・景観形成ガイドライン（緑の景観づくり国分寺崖線編） 
平成30 (2018)		国分寺崖線	・国分寺崖線の景観の特徴の学習 ・樹林地の見学 	
令和元 (2019)	3	駅の景観	・駅の優良事例の視察 ・駅まわりの魅力的な景観の発見 ・駅の景観のとりまとめ 	・とりまとめ冊子『調布の景観－駅まわり編－』 
令和2 (2020)				
令和3 (2021)				
令和4 (2022)				
令和5 (2023)				
令和6 (2024)	4	協働による身近な 景観まちづくり	・小学校区別の景観資源の検討 ・景観資源図の検討 ・小中学生アンケート結果の分析 	・景観計画の改定検討 ・小学校区別の景観資源図の作成
令和7 (2025)				

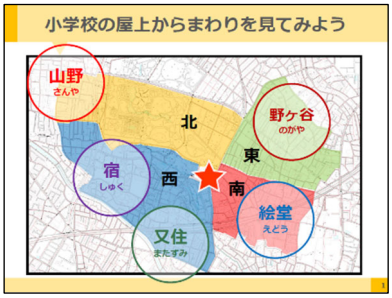
②景観学習の推進

市民が主体的に景観形成に取り組むためには、景観に対する関心を深め、地域への愛着心を育むことが必要であると考えます。景観に関する講演会・セミナーや出前講座など、子どもたちを含む市民に向けた各種イベントの開催を検討し、推進していきます。

特に、将来の景観まちづくりの担い手となる子ども向けに、景観の考え方や景観まちづくりの必要性、市内の優れた景観資源や市の取組等を紹介した景観学習の参考となる読み物を作成し、学習機会の創出や活用を促していきます。

市内小学校における景観学習の実施

・子ども向けの景観学習の推進の一環として、平成30(2018)年４月に深大寺小学校３年生（３クラス）を対象とした授業を行いました。
・小学校３年生の地域を学習する社会科と、総合学習の時間のコラボ授業として実施し、市職員が市内や深大寺通り周辺地区の景観の特徴や景観まちづくりの取組について紹介しました。
・どのクラスでも、積極的に手を挙げて質問や回答する子どもたちの姿が見られました。



使用した教材(一部)

③景観資源の抽出

季節の移り変わりを感じさせる魅力的な自然景観をはじめ、地域の歴史文化を物語り、後世に受け継いでいってもらいたい歴史景観、さらには地域住民等の暮らしを映し出す景観等、市の個性や魅力を市民に改めて知ってもらうため、様々な景観資源の抽出を行います。また、必要に応じて、それらの景観資源を景観重要建造物や樹木、景観重要公共施設に指定するなど、景観法の活用を図ります。

④景観まちづくり活動の広報と情報提供

市民が自主的に取り組む景観まちづくり活動について、ホームページ、市報、SNS、「ちょうふ景観だより」等の活用により、情報の公開・提供を行います。その他、市民の景観意識の啓発のための施策を展開します。

(3)景観協定の活用

景観協定は、景観法の規定に基づき、景観計画区域内の土地所有者等の全員の合意により、当該土地の区域における良好な景観の形成に関して締結される協定であり、景観行政団体の長の認可により、一定の法的効力を有するものです。

景観協定では、地区計画や建築協定、緑地協定で定めることのできる幅広い内容について対象とすることができます。

景観協定で目指す街並み

地域の付加価値の向上

- ゆとりある街並み景観の形成
- 魅力的な景観の形成
- 地域コミュニティの育成

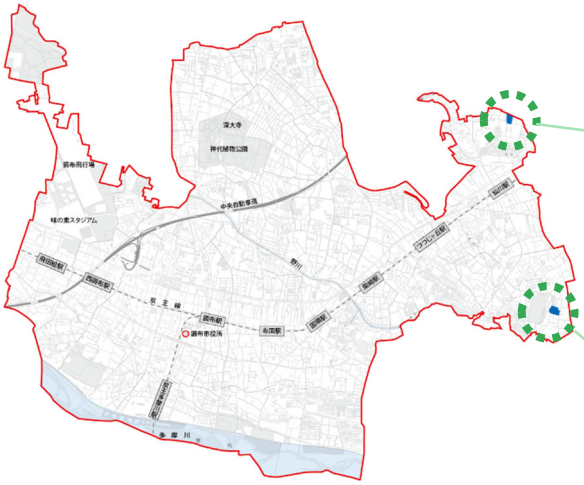
景観協定で定める基準

- ・敷地面積の最低限度
- ・建蔽率の制限
- ・建築物の壁面の位置の制限
- ・建築物の階数
- ・周辺の調和に配慮した建築物の形態意匠、色彩、建築設備等
- ・建築物の敷地の接道確保
- ・敷地内の空地等の緑化
- ・電柱・電線類
- ・認可後も市と継続した連携
- ・運営委員会の適切な組織運営
- ・購入者への協定内容の周知
- ・公園等を利用した地域活動

【調布市の状況】

調布市においては、景観法に基づく景観協定を締結している地区が２地区あり、都内では数少ない景観協定の事例です。２地区ともに、住宅地（２世帯住宅を含む戸建住宅）における協定であり、宅地開発に合わせて協定を締結し、建築完了後も良好な景観形成が図られています。

これらの「景観協定地区」において、協定に適合する建築後に内容の変更等を行う場合は、協定地区で定めた運営委員会への事前の確認とともに、必要に応じて市と連携し協定に適合することを確認する必要があります。



景観協定位置

「緑ケ丘二丁目地区」景観協定

認可日：平成28(2016)年3月16日
有効期間：認可日より10年間
（※更新あり）



調布市入間町地区“プラウドシーズン成城学園前　庭園の街”」景観協定

認可日　：平成29(2017)年10月5日
有効期間：認可日より10年間
（※更新あり）



【景観協定の目安基準】

相談はあったものの景観協定の締結に至らない地区が複数あったことから、市独自の景観協定基準を定め、判断の目安としています。

これらの基準を参酌しながら、権利者や事業者と適切に協議を行い、地区の特徴や状況を生かし魅力を高める協定の締結を促していきます。

調布市における景観協定の目安基準

	住宅地A 建蔽率40% 容積率80%	**住宅地B** 建蔽率50% 容積率100%	**住宅地C** 建蔽率60% 容積率150%、200%
敷地面積の最低限度	120㎡以上	110㎡以上	100㎡以上
建蔽率の制限	40% （角地緩和適用で45%）	50% （角地緩和適用で55%）	55% （角地緩和適用で60%）
建築物の壁面の位置の制限	道路境界線から0.7m以上 隣地境界線から0.5m以上	道路境界線から0.7m以上 隣地境界線から0.5m以上	道路境界線から0.7m以上 隣地境界線から0.5m以上
二つ以上の道路に面する敷地の場合	主となる道路に面する部分は0.7m以上 隅切り部分は0.5m以上	主となる道路に面する部分は0.7m以上 隅切り部分は0.5m以上	主となる道路に面する部分は0.7m以上 隅切り部分は0.5m以上
建築物の階数	地階を除き２以下	地階を除き２以下	地階を除き２以下

（4）多様な制度の活用

景観まちづくりを総合的に推進するため、都市計画法や都市緑地法等の関連する制度を併せて活用していきます。

①景観に関する制度

制度名	制度の概要	根拠法令等
景観地区	・市街地の良好な景観を形成するため、建築物・工作物の形態意匠の制限、建築物の高さの最高限度等を都市計画に定める	景観法 都市計画法

②都市計画に関する制度

制度名	制度の概要	根拠法令等
地区計画	・一定のまとまりを持つ地区を対象に、地区の状況や特性に合わせて、建築物・工作物の形態意匠の制限、地区施設の配置などのきめ細かいルールを定める **【調布市の例】** 調布駅周辺地区、仙川駅周辺地区、布田地区、国領駅周辺地区など15地区	都市計画法
特別用途地区	・用途地域内において特別の土地利用の制限または誘導が必要な場合に、用途地域の規制に加えて補足的な規制を行う **【調布市の例】** 深大寺通り沿道地区	都市計画法
特定街区	・土地の高度利用と良好な都市環境の形成を図るため、建築物の容積率・高さ制限などを緩和できる制度	都市計画法
建築協定	・良好な景観の形成を図るため、土地所有者や借地権者などの全員の合意に基づいて、建物の用途・高さ・デザインなど建築に関するルールを定める **【調布市の例】** 染地の一部、小島町の一部、深大寺北町の一部など５地区	建築基準法
総合設計制度	・都市環境の向上と土地の有効利用を目的とし、敷地内の空地の確保など周囲の環境と調和した良好な建築計画を行う場合に、容積率・高さ制限などの緩和が可能となる制度	建築基準法

調布市内の例

アトラス調布

・富士見町三丁目に位置する旧調布富士見町３丁目地区は、都市計画法に基づく一団地の住宅施設の廃止、地区計画の制定により整備されました。
・市道と一体となった石畳のコミュニティ街路の整備、建築物の雁行配置によるポケットパークの確保などの工夫がなされています。
・公共的空間と建築物が一体となって優れた都市景観を形成していることが高く評価され、平成28年度都市景観大賞（都市空間部門）の国土交通大臣賞を受賞しました。



③緑に関する制度

制度名	制度の概要	根拠法令等
緑地保全地区	・都市に残る貴重な自然や緑を守り、良好な景観や生活環境を保つため、建築などの行為を制限する地区 **【調布市の例】** 深大寺元町特別緑地保全地区	都市緑地法
風致地区	・都市内の美しい景観や自然環境を守り、風致の維持と向上のため、建築物の高さ・形態意匠、樹木の伐採や工作物の設置などに制限を設ける地区	都市計画法
生産緑地地区	・都市農地の保全を目的として、農業を継続するために必要な措置が講じられ、原則として30年間は宅地化が制限される ・生産緑地法の改正により、生産緑地地区を保全する仕組みとして、指定から30年が経過しようとしている生産緑地地区について10年間の延長ができる「特定生産緑地制度」が創設 ・特定生産緑地地区は、10年経過後も繰り返し10年間の延長が可能	生産緑地法
緑地協定	・地域の緑を守り育てるため、土地所有者や借地権者などの合意に基づいて、樹木の植栽や管理方法などのルールを定める	都市緑地法

④屋外広告物に関する制度

制度名	制度の概要	根拠法令等
広告誘導地区	・知事が定める一定の区域において、広告物等の形状、面積、色彩、意匠などに関するルールを定める	東京都屋外広告物条例
広告協定地区	・良好な地域環境を形成するため、土地・建築物・広告物等の所有者等の合意により、広告物等の形状、面積、色彩、意匠などに関するルールを定める	東京都屋外広告物条例

⑤歴史的まちづくりや文化財に関する制度

制度名	制度の概要	根拠法令等
文化財等	・重要な文化財である建造物・史跡・名勝等を指定し、保全・活用を図る制度	文化財保護法 東京都文化財保護条例 調布市文化財保護条例

調布市内の例

深大寺元町特別緑地保全地区

・武蔵野の雑木林の面影を残し、崖線緑地として緑豊かで良好な景観を形成するとともに、野生生物の生育・生息環境としても貴重な場所です。

・地区の周辺には、国分寺崖線に沿って残された緑地や深大寺の社寺林など、市の特徴的な緑が集約されています。

・平成29(2017)年に特別緑地保全地区の指定を行い、次世代へと引き継ぐべき貴重な緑地として、保全管理計画を定め、計画的に保全と活用を行っています。

